

子どもの権利に関する市立学校アンケート結果

1 アンケート概要

アンケートの目的：市立学校の児童生徒に子どもの権利に関するアンケートを実施することを通じて、子どもの権利に関する啓発を行うとともに、市の子どもの権利に関する条例検討委員会における検討の参考とすること。

対 象 者：市立学校（小4～中3）全児童生徒

実 施 期 間：令和3年8月31日から令和3年9月10日まで

実 施 方 法：児童生徒に配付されているタブレット端末により無記名回答

調 査 者 数：4,928 件

回 答 総 数：3,743 件

回 答 率：76.0%

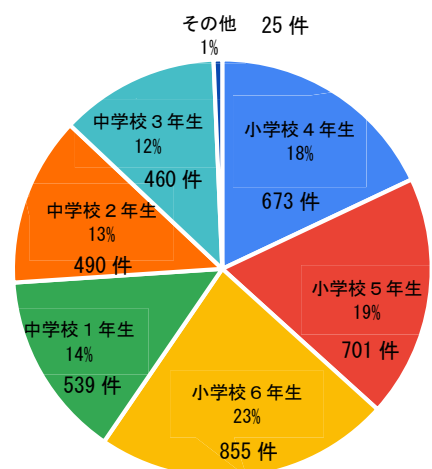
2 アンケート結果

1. あなたの学年を教えてください。

〔アンケート回答総数と回答率〕

学年	回答総数 (件)	調査者数 (件)	回答率
小学校4年生	673	1,027	65.5%
小学校5年生	701	980	71.5%
小学校6年生	855	976	87.6%
中学校1年生	539	638	84.5%
中学校2年生	490	684	71.6%
中学校3年生	460	623	73.8%
その他	25	—	—
合計	3,743	4,928	76.0%

〔回答者の学年構成〕



○全体の回答率は、76.0%でした。

○学年別で、回答率が最も高かったのは、小学6年生の87.6%でした。

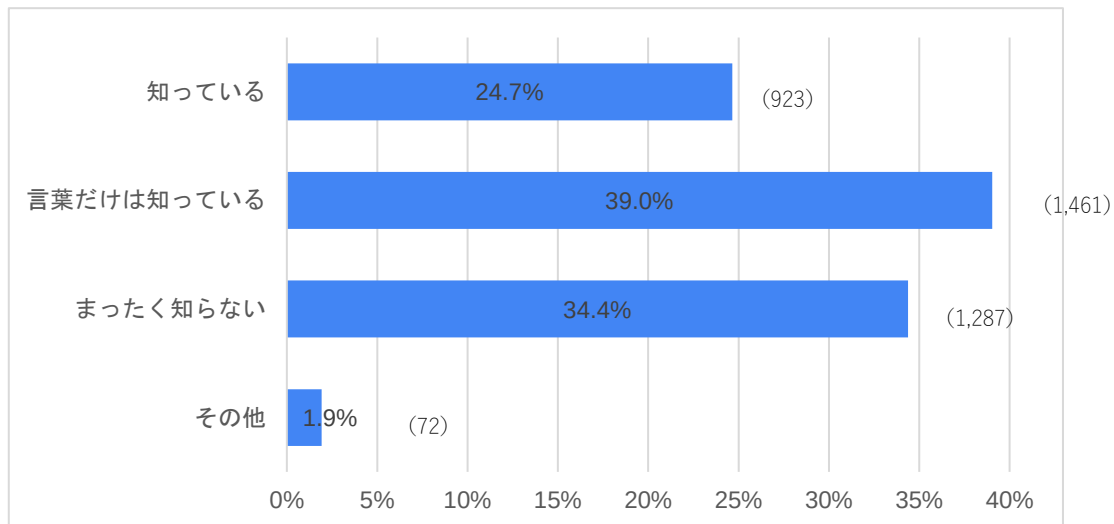
○学年別で、回答率が最も低かったのは、小学4年生の65.5%でした。

○回答者の約6割が小学生、約4割が中学生でした。

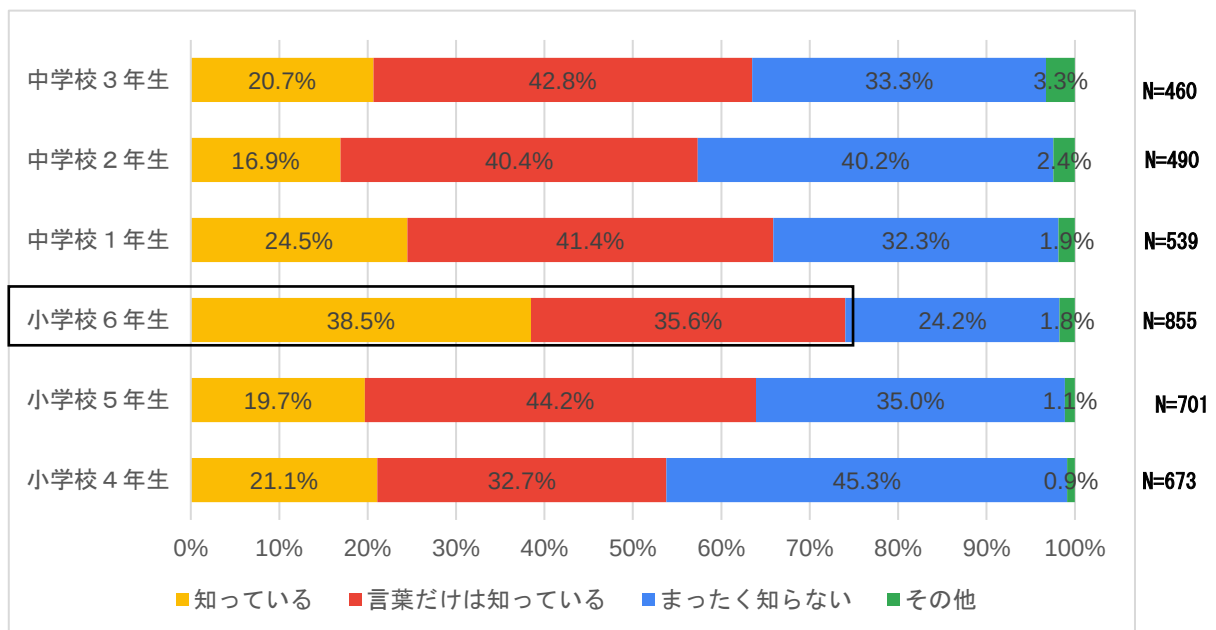
○「その他」は、無回答もしくは複数回答したため、学年が特定できなかったものです。

2. 「子どもの権利」とは、子どものみなさんが安心して生活できること、自信をもって生きていくこと、自由に意見を言ったり活動したりすることができることなど、自分らしく元気に生きる上で大切なものです。あなたは、こうした「子どもの権利」について、知っていますか？

N=3,743



学年ごとの割合 (%)



○全体で、「知っている」、「言葉だけは知っている」（肯定的な回答）の合計は、63.7%でした。

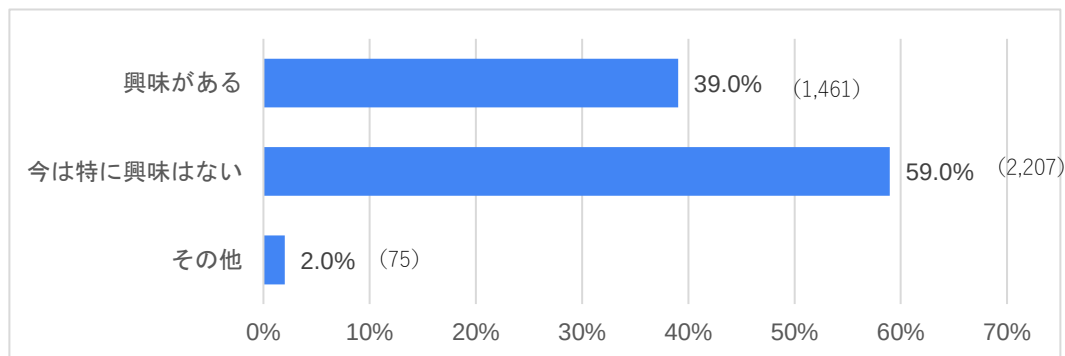
○学年別で、肯定的な回答が最も高いのは、小学6年生の74.1%でした。

○学年別で比較すると、小学6年生の「知っている」の回答割合（38.5%）が突出して高くなりました。

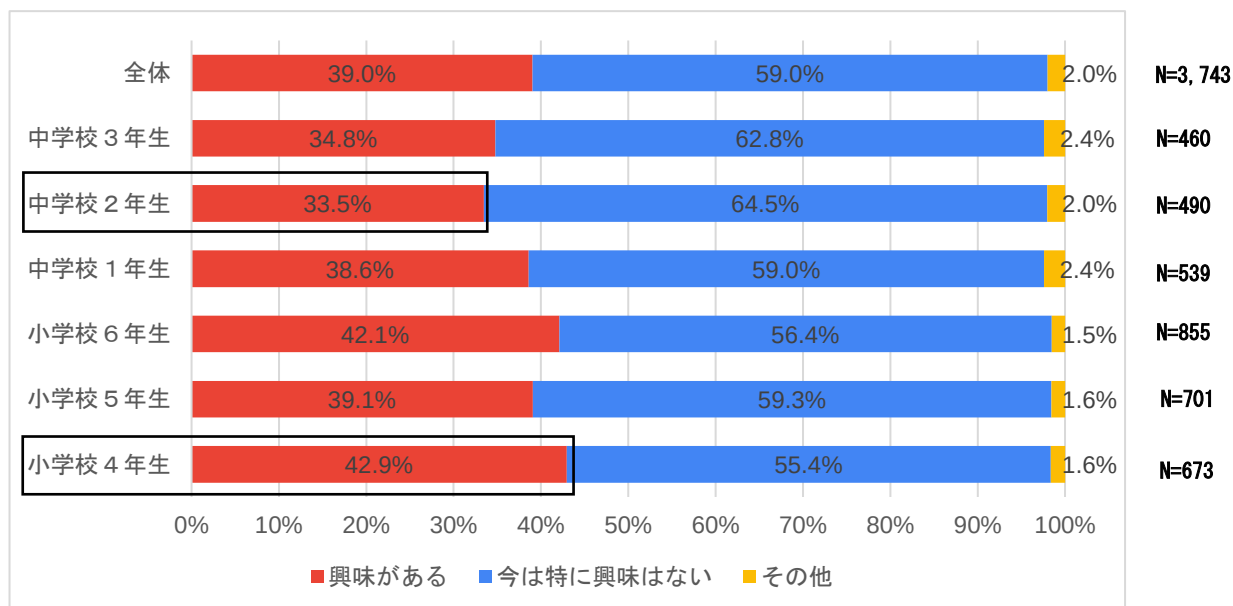
○学年別で、「まったく知らない」の回答が最も高いのは、小学4年生の45.3%でした。

3. 「あなたは、「子どもの権利」について興味（きょうみ）がありますか？

N=3,743



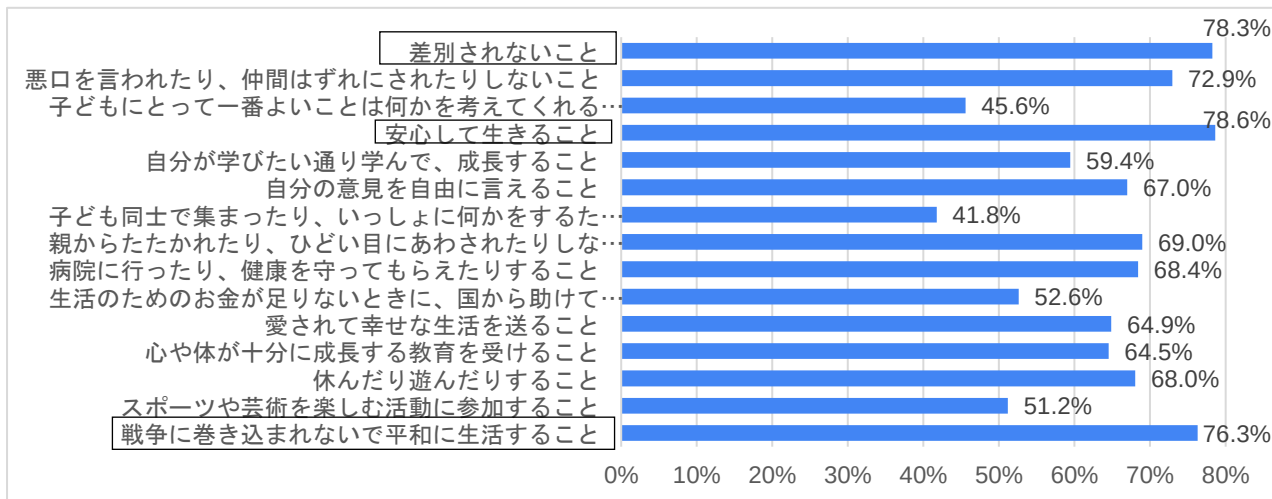
学年ごとの割合（%）



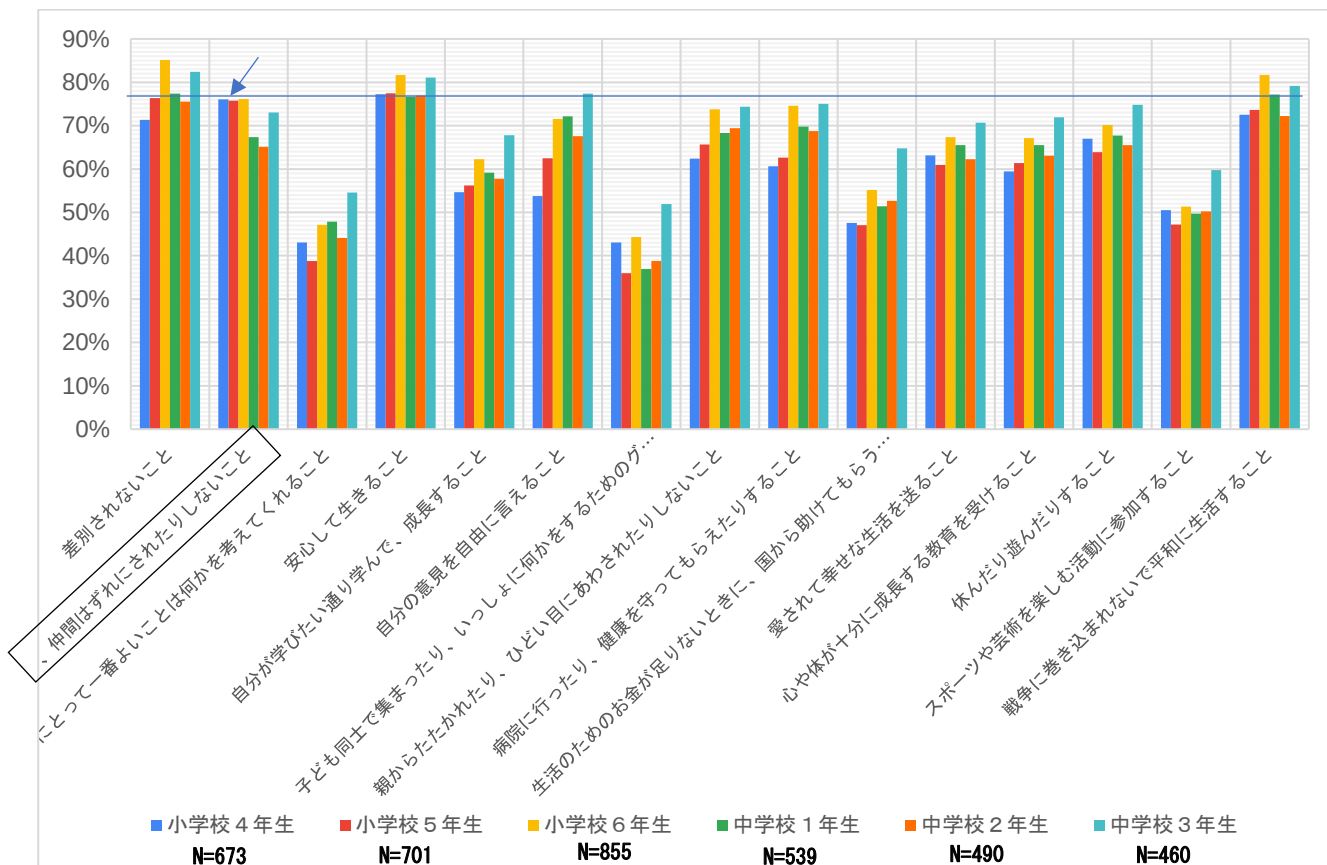
- 全体で、「興味がある」の回答は39.0%でした。
- 学年別で、「興味がある」の回答が最も高いのは、小学4年生の42.9%でした。
- 学年別で、「興味がある」の回答が最も低いのは、中学2年生の33.5%でした。
- すべての学年で、「今は興味がない」の回答が、55%を超えました。
- 中学生全体では、「今は興味がない」の回答が、6割を超えました。

4. 子どもの権利には、次のようなものがあります。あなた自身が特に大切だと思う子どもの権利を選択肢の中から選んでください。（いくつでも可）

3,743 件の回答



学年ごとの割合 (%)

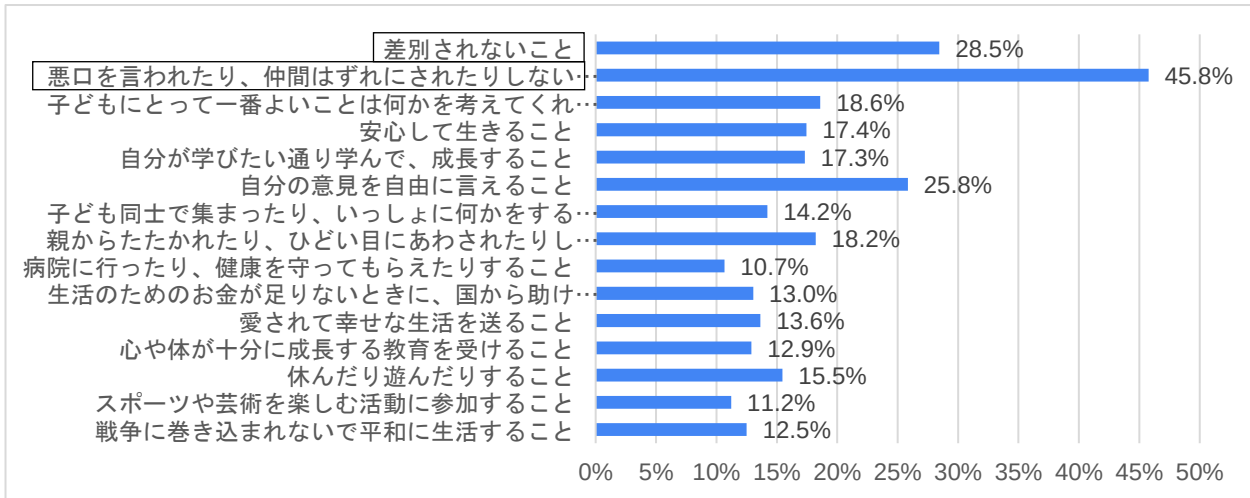


○特に大切だと思う子どもの権利の回答が高いのは、全体では、「安心して生きること」（78.6%）、「差別されないこと」（78.3%）、「戦争に巻き込まれないで平和に生活すること」（76.3%）です。

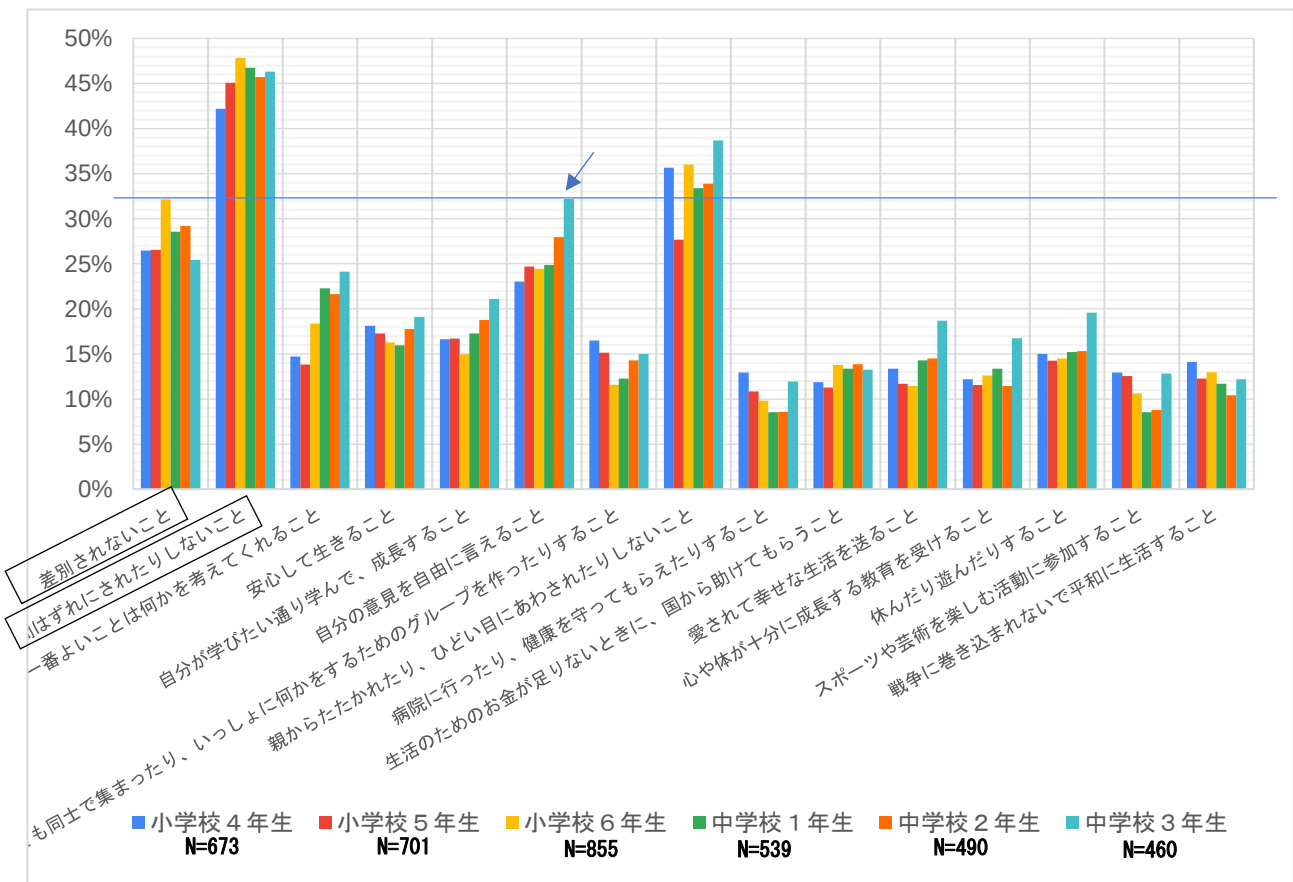
○小学生全体では、中学生全体よりも、「悪口をいわれたり、仲間はずれにされたりしないこと」の回答が高くなりました。

5. あなた自身やあなたの周りで、守られていないことがあると思う子どもの権利を選んでください。（いくつでも可）

N=3,743



学年ごとの割合 (%)

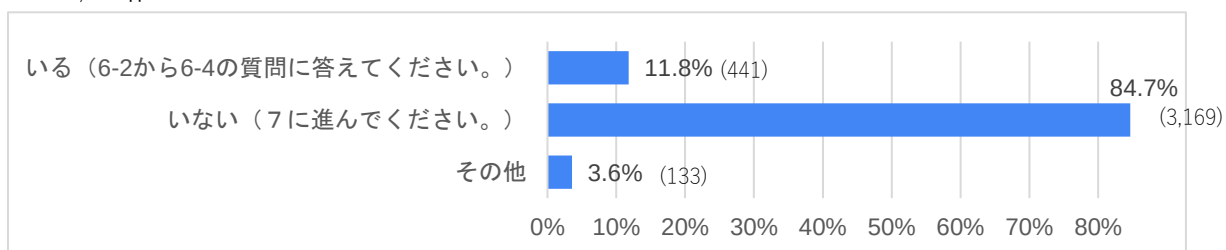


○守られていないことがあると思う子どもの権利の回答が高いのは、全体では、「悪口をいわれたり、仲間はずれにされたりしないこと」（45.8%）、「差別されないこと」（28.5%）でした。

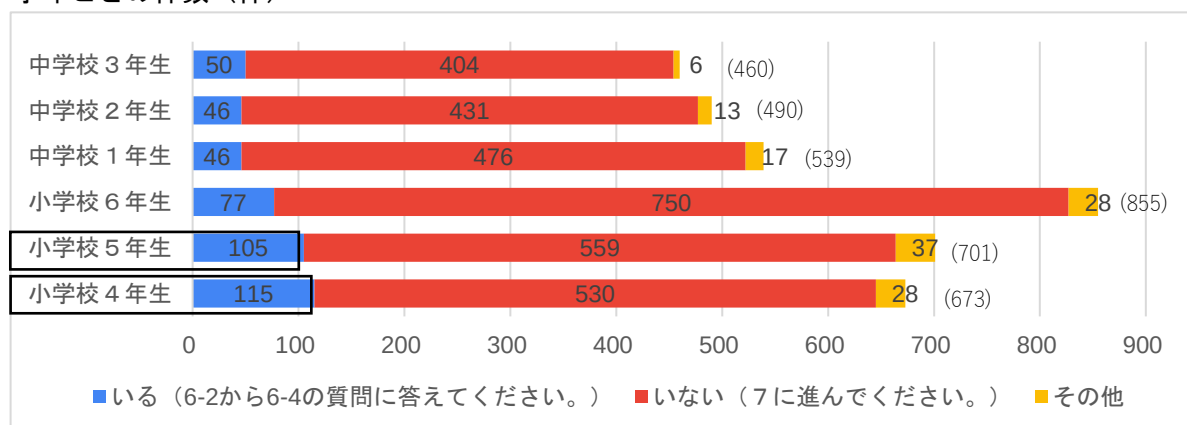
○中学3年生では、「自分の意見を自由に言えること」が、守られていないことがあると思う子どもの権利の回答が3番目に高くなりました。

6-1. もともと、大人がやると考えられているような家事（例：食事の用意、洗たく、そうじ）や家族の世話（例：病院へのつきそい、衣服の脱ぎ着の世話）などを、大人の代わりにいつも行っている子どものことを「ヤングケアラー」と言われています。家族の中に、あなたがお世話している人はいますか？

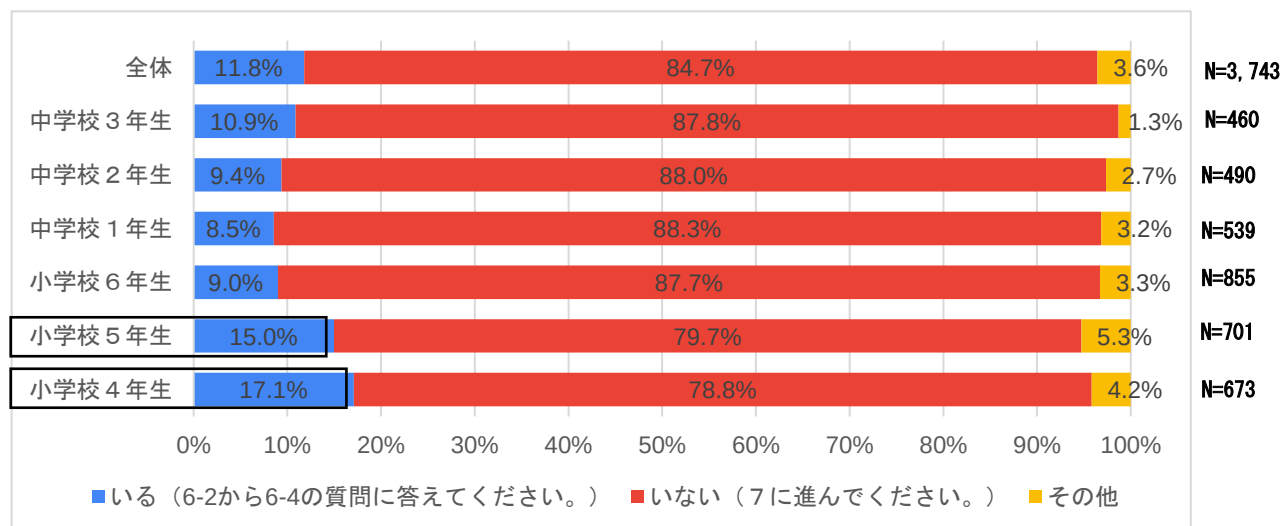
N=3,743 件



学年ごとの件数（件）



学年ごとの割合（％）



○世話をしている家族が「いる」と回答した割合(件数)は、11.8%（441件）でした。

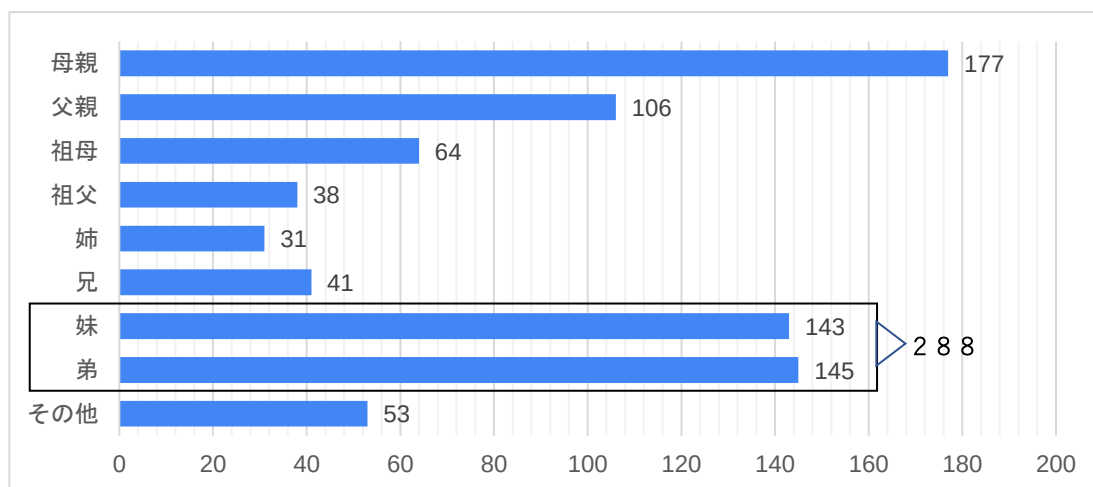
○世話をしている家族が「いる」の回答件数441件のうち、約半数（220件）が小学4年生（115件）及び小学5年生（105件）でした。

○中学生では、世話をしている家族が「いる」と回答した割合（件数）は、9.5%（142件）でした。

○令和2年12月実施の国調査（中学2年生対象：5.7%）よりも高い回答割合でした。

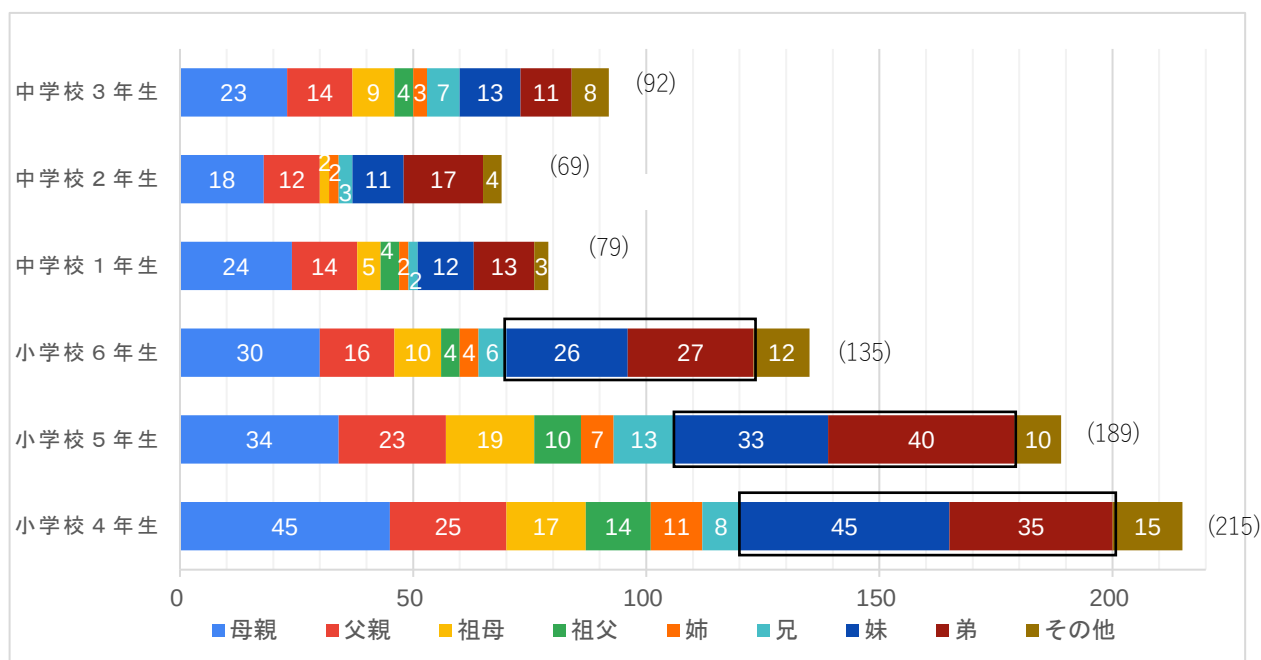
6-2. 「いる」と回答した人に聞きます。あなたは、だれのお世話をしていますか？（あてはまるものすべて選んでください。）

N=467



※自由記載、少数回答は省略

学年ごとの件数（件）



○全ての学年で、世話をしている家族は、年下のきょうだい（妹・弟の合計件数）の回答が最も多くなりました。

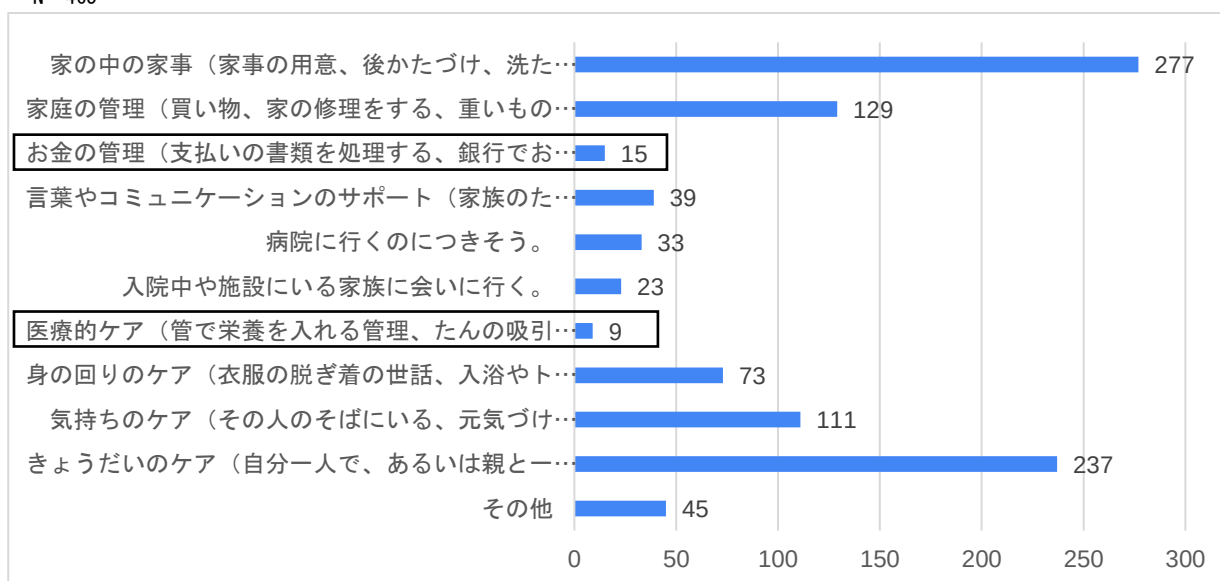
○年下のきょうだい（妹・弟）に次いで、母親、父親、祖母との回答が多くなりました。

○アンケート実施が夏休み明けだったため、夏休み期間に、両親の手伝いをする機会やきょうだいの世話を（一緒に過ごす）機会、祖父母の世話を（一緒に過ごす）機会がふえていたことも考えられます。

○「その他」には、犬、猫、金魚、ペット、曾祖父母、いところ、朝顔の水やり、皿を並べる、など様々な回答がありました。

6-3. 「いる」と回答した人に聞きます。あなたは、どんなことを行っていますか？（あてはまるものすべて選んでください。）

N=465



学年ごとの件数（件）

	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生	その他	合計
家の中の家事（家事の用意、後かたづけ、洗たく、そうじなど）をしている。	58	59	47	40	33	38	2	277
家庭の管理（買い物、家の修理をする、重いものを運ぶなど）をしている。	29	31	23	13	14	17	2	129
お金の管理（支払いの書類を処理する、銀行でお金を出し入れするなど）をしている。	5	5	0	1	0	2	2	15
言葉やコミュニケーションのサポート（家族のために通訳をする、書類や手紙などを説明して対応するなど）をしている。	8	7	6	6	3	7	2	39
病院に行くのにつきそう	9	10	4	2	1	4	3	33
入院中や施設にいる家族に会いに行く。	7	4	4	1	1	4	2	23
医療的ケア（管で栄養を入れる管理、たんの吸引など）をしている。	2	2	0	1	1	1	2	9
身の回りのケア（衣服の脱ぎ着の世話、入浴やトイレの世話、移動の世話など）をしている。	15	20	12	6	5	11	4	73
気持ちのケア（その人のそばにいる、元気づける、話しかける、見守る、その人を散歩に連れていくなど）をしている。	30	27	16	14	9	13	2	111
きょうだいのケア（自分一人で、あるいは親と一緒に、きょうだいの世話をする）をしている。	68	61	42	24	17	22	3	237
その他	17	13	3	4	3	4	1	45

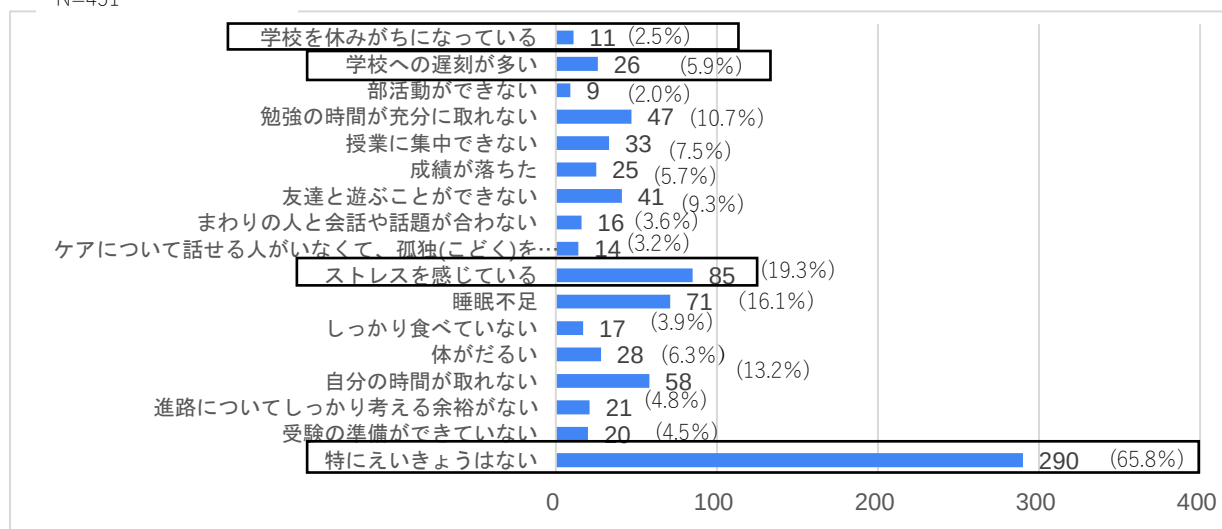
- 全ての学年で、「家の中の家事（家事の用意、後かたづけ、洗たく、そうじなど）をしている」（277件）、「きょうだいのケア（自分一人で、あるいは親と一緒に、きょうだいの世話をする）をしている」（237件）の回答件数が多くなっています。
- 「お金の管理（支払いの書類を処理する、銀行でお金を出し入れするなど）をしている」（15件）、「医療的ケア（管で家用を入れる管理、たんの吸引など）をしている」（9件）など、子どもの年齢や成熟度に合わない重すぎる責任や作業をしていると思われる回答もありました。

○「その他」の回答には以下のような記載がありました（抜粋）。なかには、障害のあるきょうだいのお世話をしていると思われる記載もありました。

きょうだいの泣き抑え
トレーニングの相手になってあげる。
ペットの世話
一緒に、勉強したり問題で間違えているところを、一緒に直したりします。
一緒に遊んであげる
金魚にエサを上げる
喧嘩を収める
姉がイジメられたとき。（彼氏に）実際にあった。
飼っている猫の餌やりなど。
持ってきてと言われたものを持ってくる
障害がある、弟はゲームがないとさけるから自分のゲームを、貸してあげる。
食事
体で支える。そのために身長体重制限がある。毎回身長が5センチメートルほど追いつかない。
飯
妹と一緒に遊んでいる。
妹や弟と一緒に遊ぶ。
薬を時間を教える
インコのエサやり掃除水やり
皿のじゅんぴ
ゴミ捨て たまに料理
ご飯をあげる
じゅんぴの手伝い 勉強のアドバイス
ピッチャーに水を入れる。
ペットに餌を上げる遊んであげる
餌あげ、トイレ掃除
皿を並べる
飼い猫にたまにごはんをあげている。（積極的に）
習い事などの送り迎え
洗濯物をたたんだりたま～に食器をあらったりしている
掃除
留守番中のとき、弟をみている。
朝ごはんの準備
妹を泣かせない
夕食の準備のみ
病院に連れて行く
弟の勉強の手伝い

6-4. 「いる」と回答した人に聞きます。家族のお世話をしているために、自分の生活にどんなえいきょうが出ていると思いますか。（あてはまるものすべて選んでください。）

N=451



学年ごとの件数（件）

	小学 4年生	小学 5年生	小学 6年生	中学 1年生	中学 2年生	中学 3年生	その他	合計
学校を休みがちになっている	2	2	1	1	1	2	2	11
学校への遅刻が多い	9	8	3	2	1	1	2	26
部活動ができない	2	2	0	0	1	2	2	9
勉強の時間が充分に取れない	11	7	8	5	6	7	3	47
授業に集中できない	9	11	3	1	3	4	2	33
成績が落ちた	10	3	2	2	2	4	2	25
友達と遊ぶことができない	13	6	5	2	4	8	3	41
まわりの人と会話や話題が合わない	6	3	0	2	2	1	2	16
ケアについて話せる人がいなくて、孤独(こどく)を感じる	2	3	0	3	1	3	2	14
ストレスを感じている	24	17	11	12	7	11	3	85
睡眠不足	16	17	10	9	8	8	3	71
しっかり食べていない	3	4	3	1	1	3	2	17
体がだるい	6	8	4	2	2	4	2	28
自分の時間が取れない	17	14	6	7	6	6	2	58
進路についてしっかり考える余裕がない	4	6	0	2	1	6	2	21
受験の準備ができていない	3	5	2	1	1	6	2	20
特にえいきょうはない	67	71	56	30	30	32	4	290

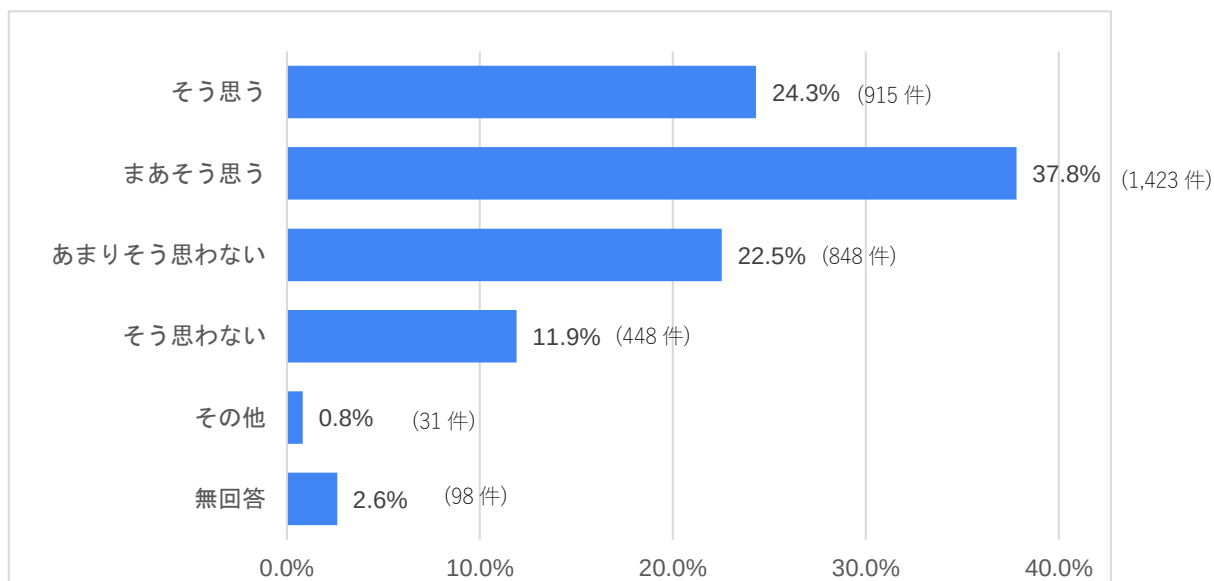
○全ての学年で、「特にえいきょうはない」（290件、65.8%）の回答が高くなっています。

○次いで、「ストレスを感じている」（85件、19.3%）の回答が高くなっています。

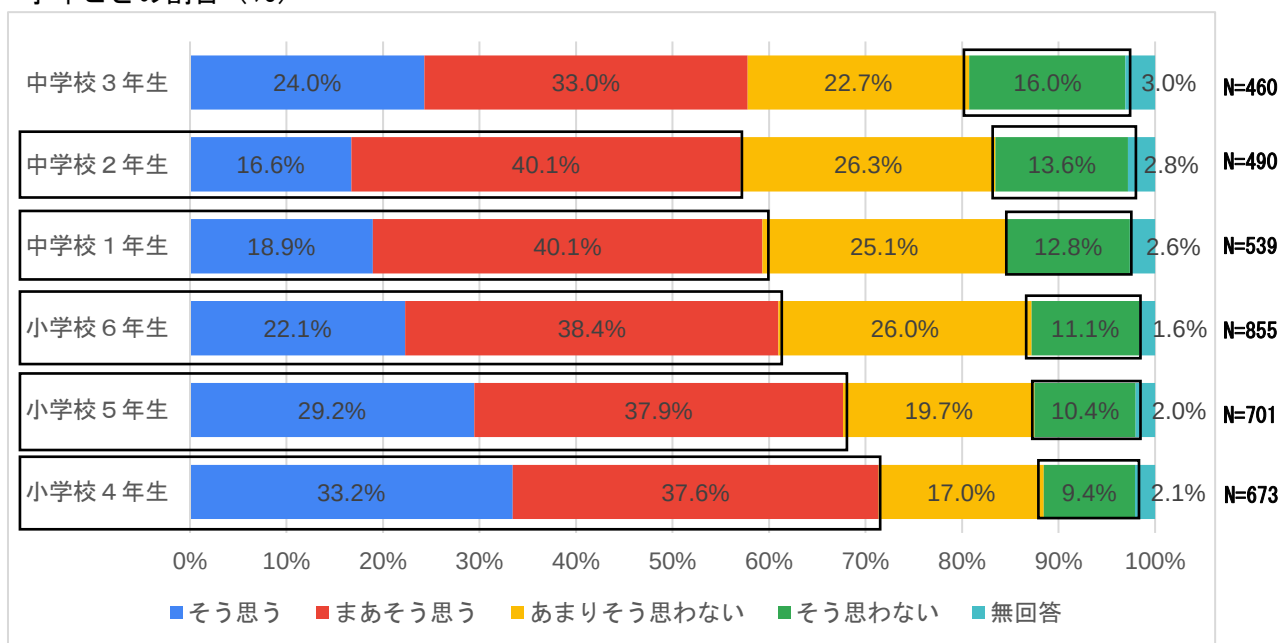
○「学校を休みがちになっている」（11件、2.5%）、「学校への遅刻が多い」（26件、5.9%）など、学校生活に大きな影響が出ていると思われる回答も、すべての学年で回答がありました。

7. あなたは、自分のことが好きですか？自分にあてはまると思うものを1つ選んでください。

N=3,763



学年ごとの割合 (%)



○「そう思う」、「まあそう思う」（肯定的な回答）の回答の合計は、全体で 62.1% でした。

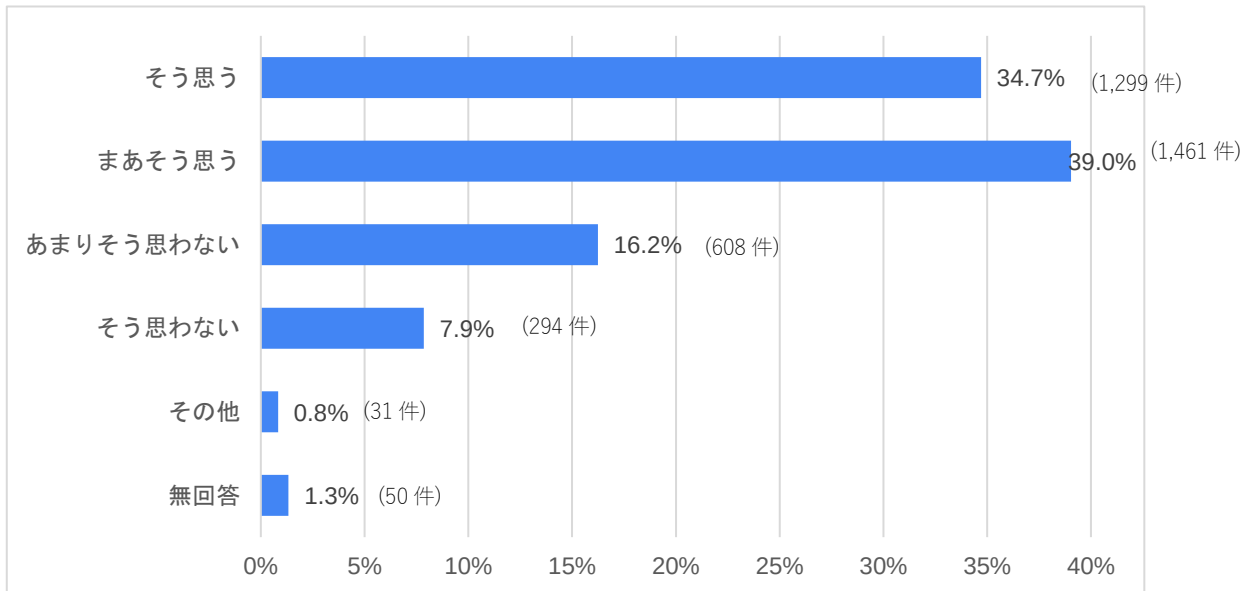
○年齢が高くなると、肯定的な回答が低くなる傾向にあります。

○中学 3 年生は、肯定的な回答が中学 2 年生より高くなっています。

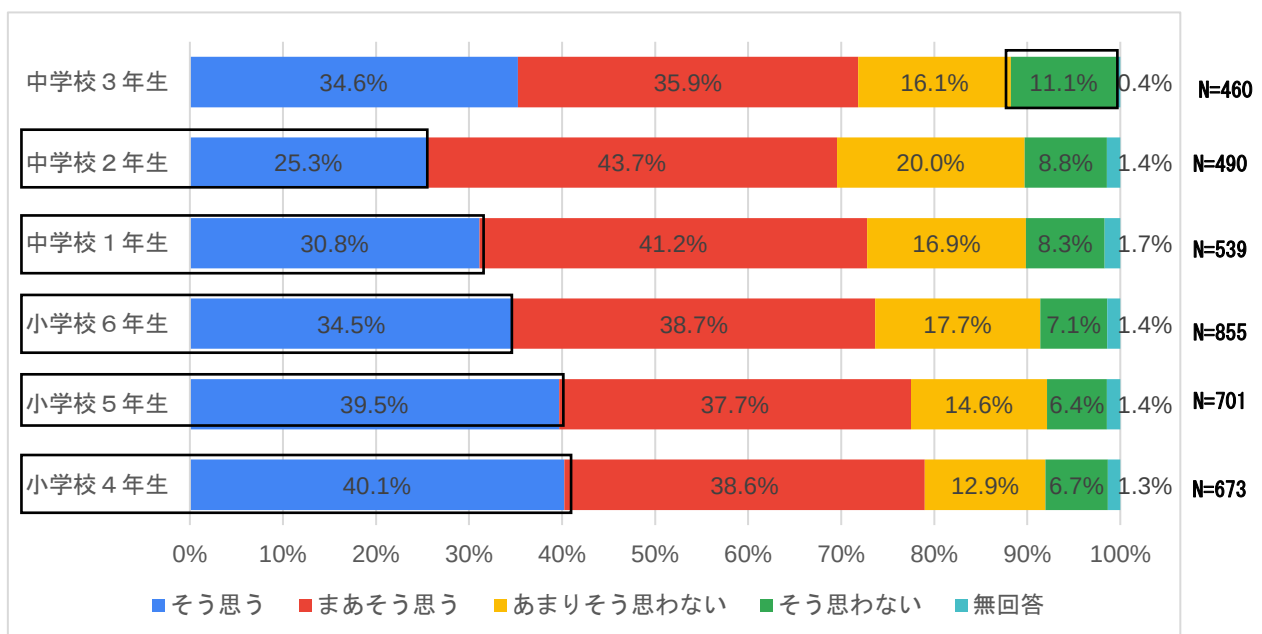
○年齢が高くなると、「そう思わない」の回答が高くなっています。

8. 自分には長所、良いところがあると思いますか？自分にあてはまると思うものを1つ選んでください。

3,743 件の回答



学年ごとの割合 (%)



○「そう思う」、「まあそう思う」（肯定的な回答）の回答の合計は、全体で 73.7%でした。

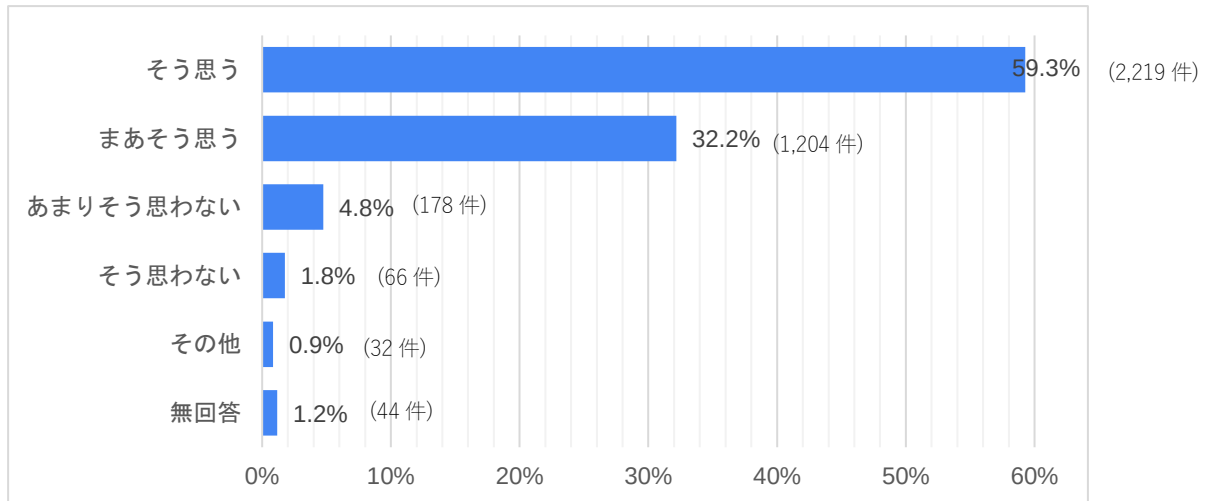
○年齢が高くなると、肯定的な回答が低くなる傾向にあります。

○中学 3 年生は、肯定的な回答が中学 2 年生より高くなりました。

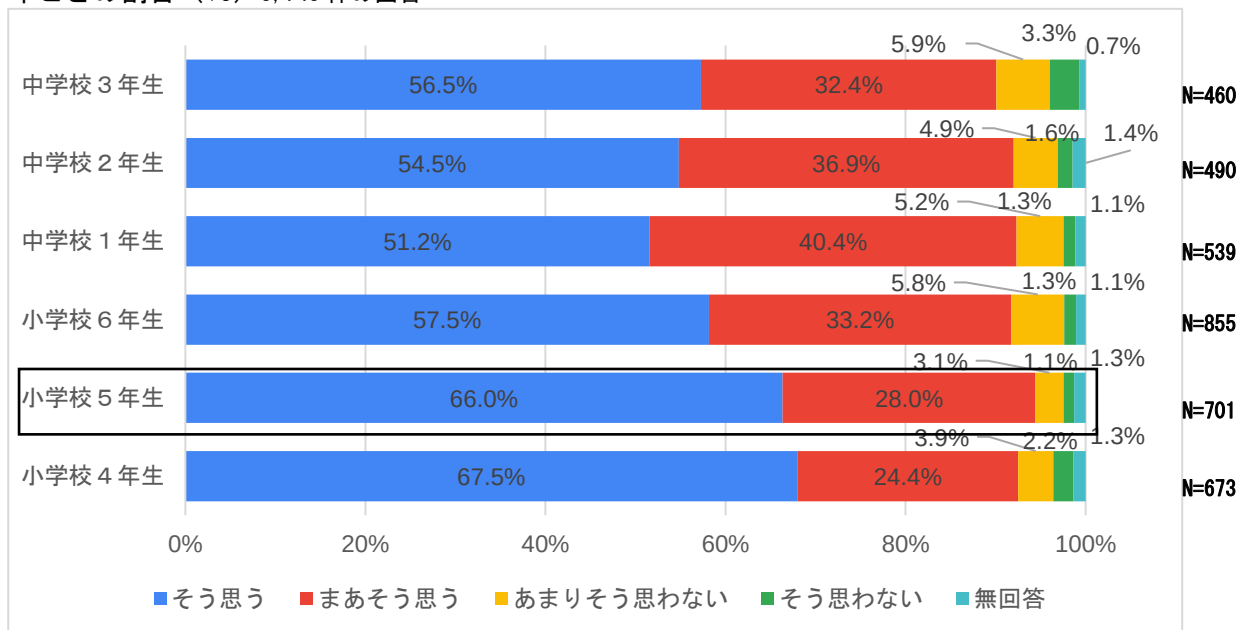
○年齢が高くなると、「そう思わない」の回答が高くなりました。

9. 自分の親など周りの人から大切にされていると思いますか？自分にあてはまると思うものを1つ選んでください。

N=3,743 件の回答



学年ごとの割合 (%) 3,743 件の回答



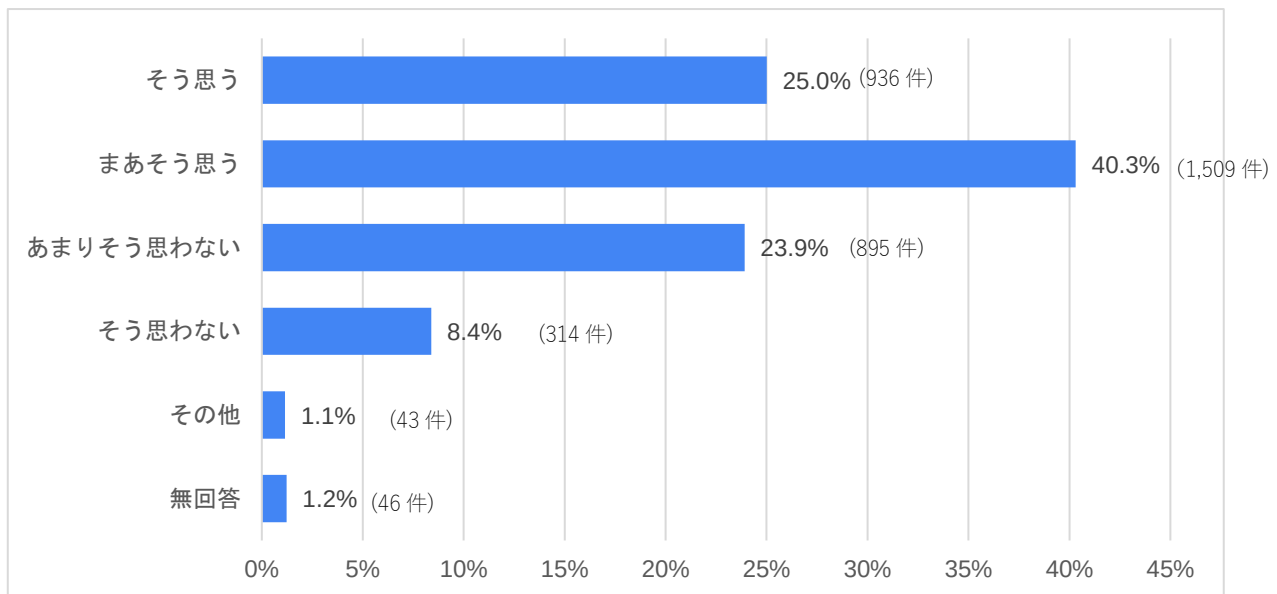
○「そう思う」、「まあそう思う」（肯定的な回答）の回答の合計は、全体で91.5%となりました。

○中学3年生を除くすべての学年で、肯定的な回答が90%を超えました。

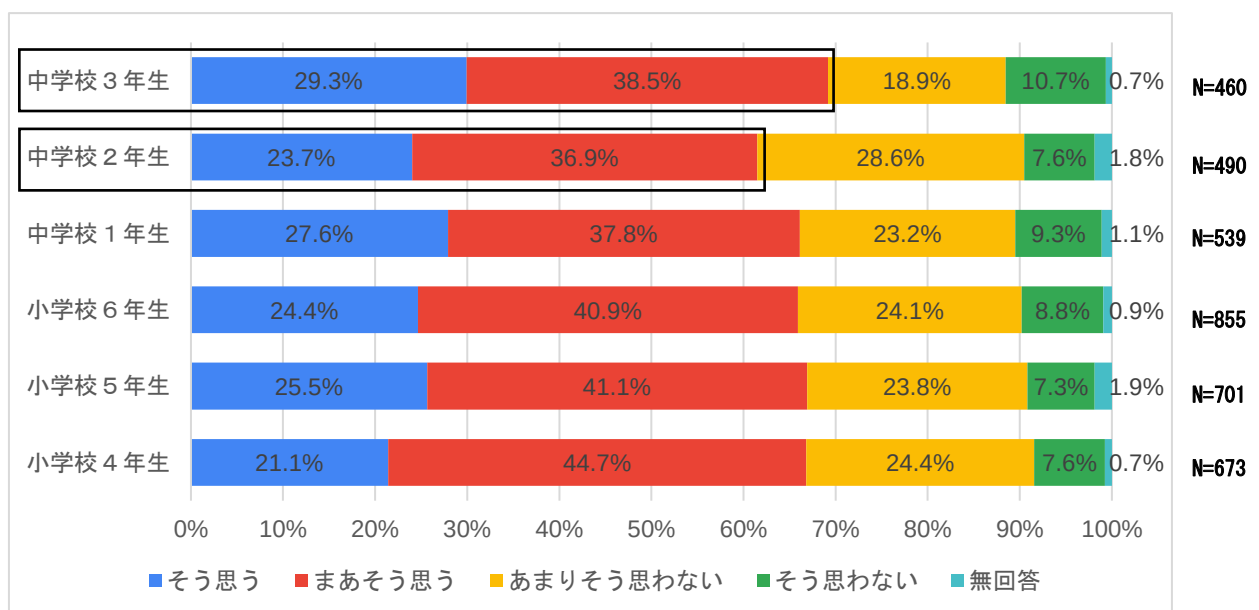
○肯定的な回答の回答割合がもっと高かったのは、小学5年生の94.0%でした。

10. 自分の考えを相手にはっきり伝えることができますか？自分にあてはまると思うものを1つ選んでください。

3,743 件の回答



学年ごとの割合 (%)

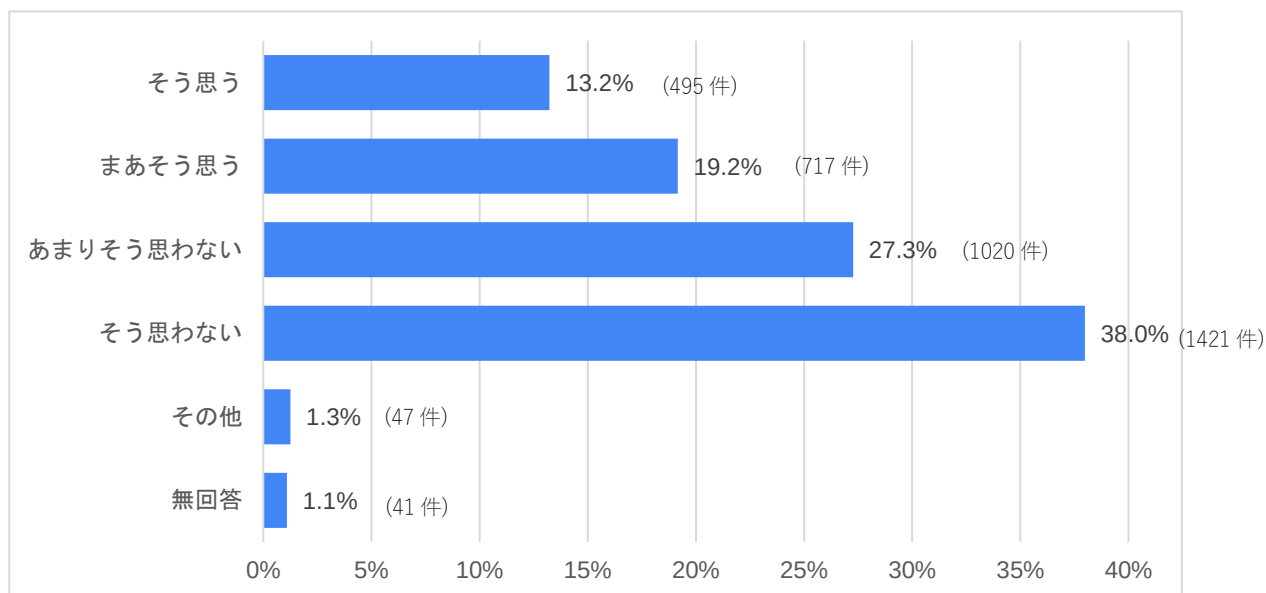


○「さう思う」、「まあさう思う」（肯定的な回答）の回答の合計は、全体で 65.3% となりました。

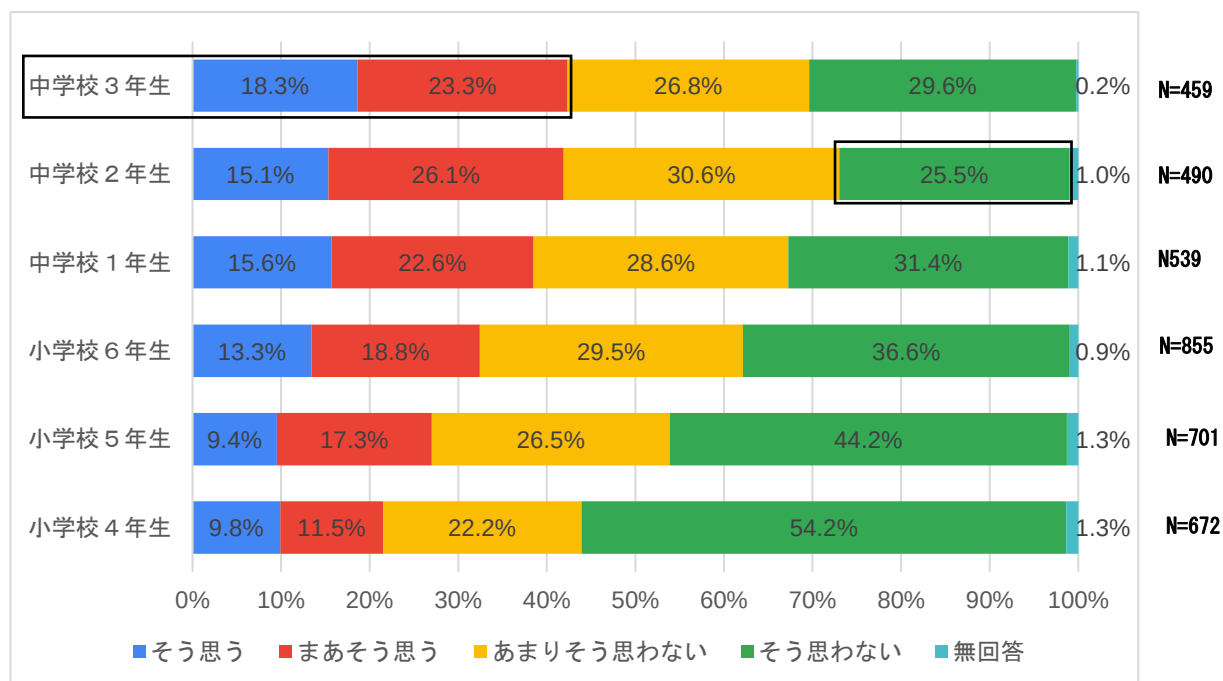
○肯定的な回答が最も高いのは、中学 3 年生 67.8% で、最も低いのは中学 2 年生（60.6%）でした。

11. 生きていることがめんどうだと感じたことがありますか？自分にあてはまると思うものを1つ選んでください。

N=3,741 件の回答



学年ごとの割合 (%) 3741 件の回答

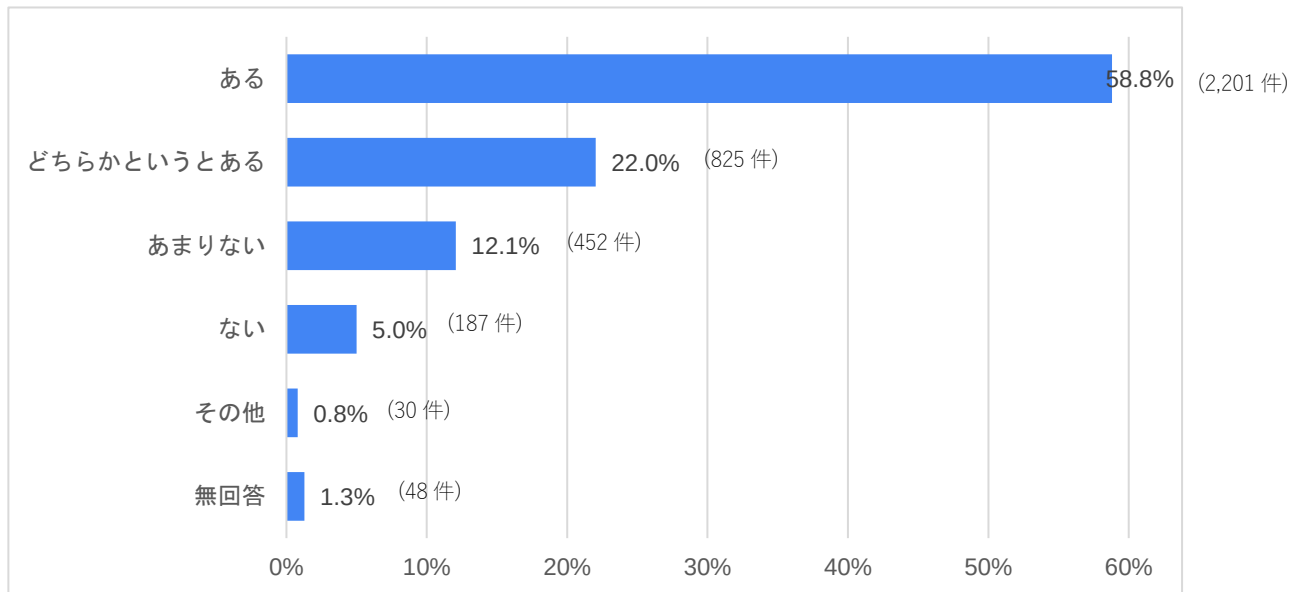


○「そう思う」、「まあそう思う」（肯定的な回答）の回答の合計は、全体で32.4%となりました。

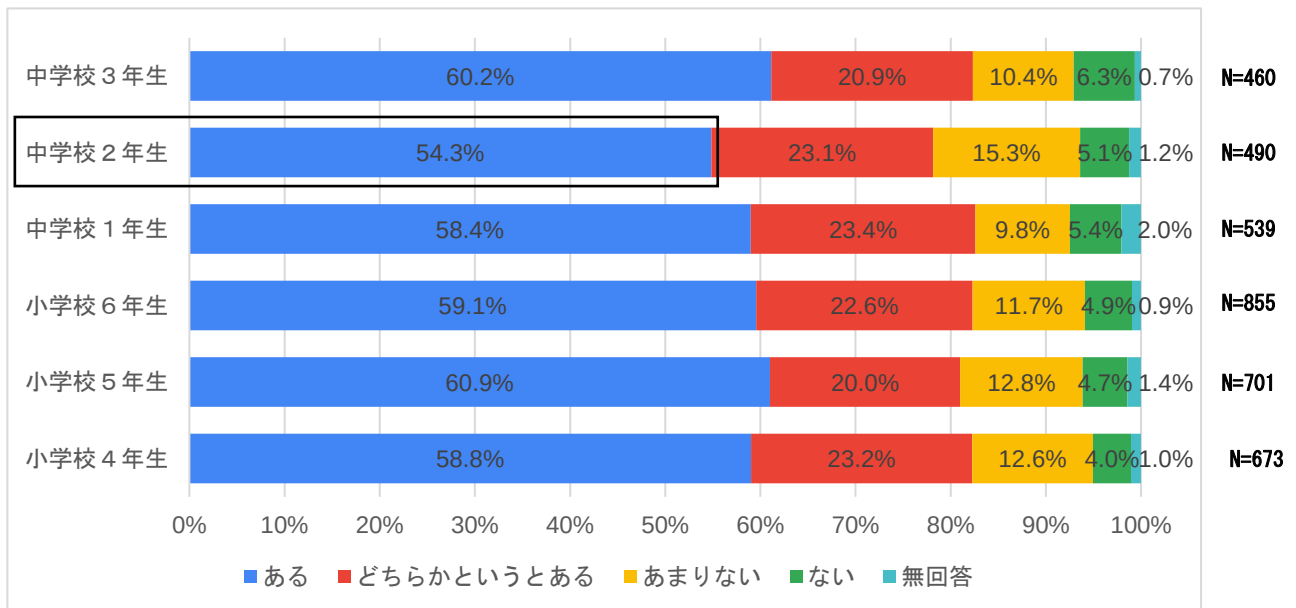
○学年が高くなると、肯定的な回答が高くなりました。

12. 今、やってみたいことがありますか？自分にあてはまると思うものを1つ選んでください。

3,743 件の回答



学年ごとの割合 (%)



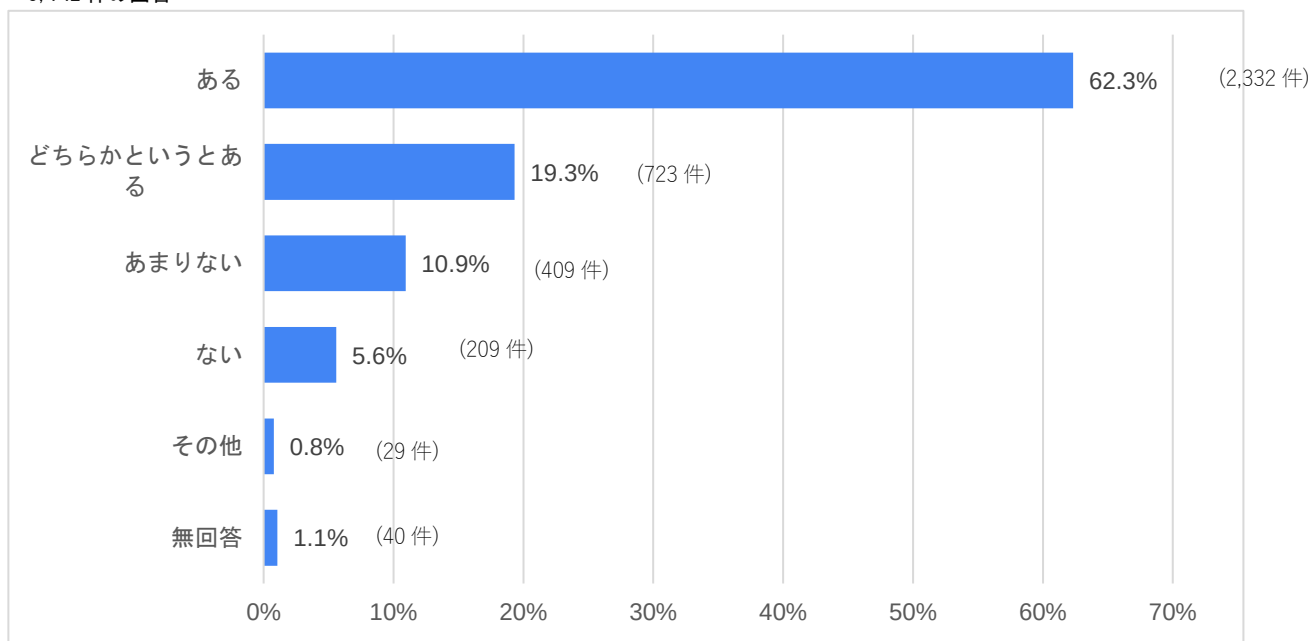
○「ある」、「どちらかというところ」（肯定的な回答）の回答の合計は、全体で 80.8% となりました。

○中学 2 年生以外の全ての学年で、肯定的な回答が 8 割を超えました。

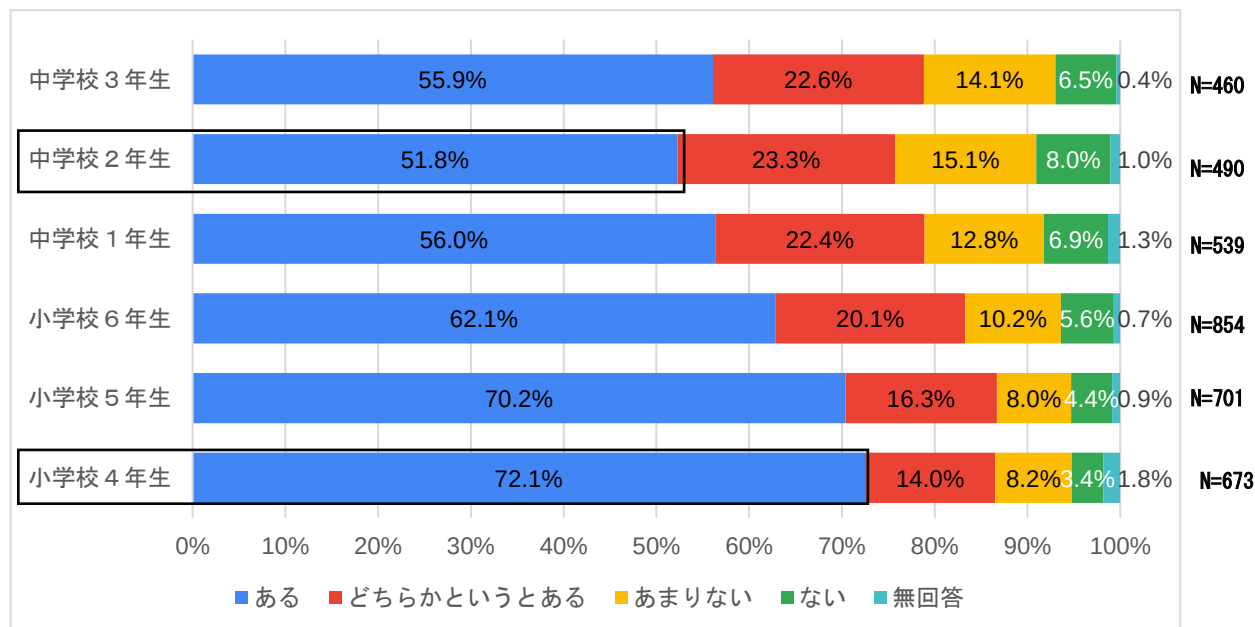
○中学 2 年生の「ある」の回答は、学年別で最も低くなりました。

13. 将来、やってみたいことがありますか？自分にあてはまると思うものを1つ選んでください。

3,742 件の回答



学年ごとの割合 (%) 3,742 件の回答

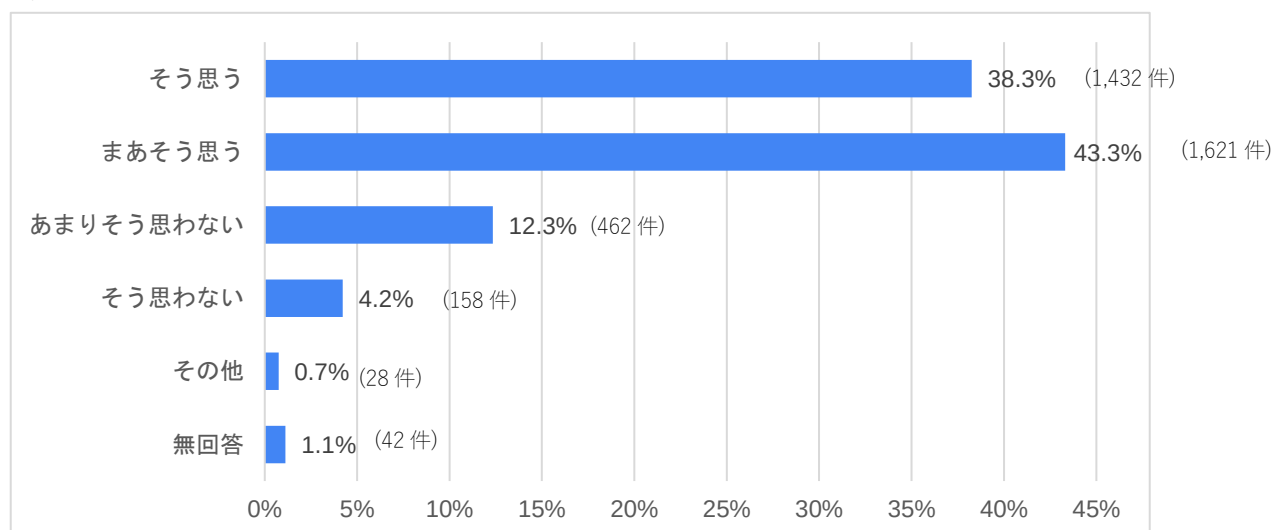


○「ある」、「どちらかというところ」(肯定的な回答)の回答の合計は、全体で81.6%となりました。

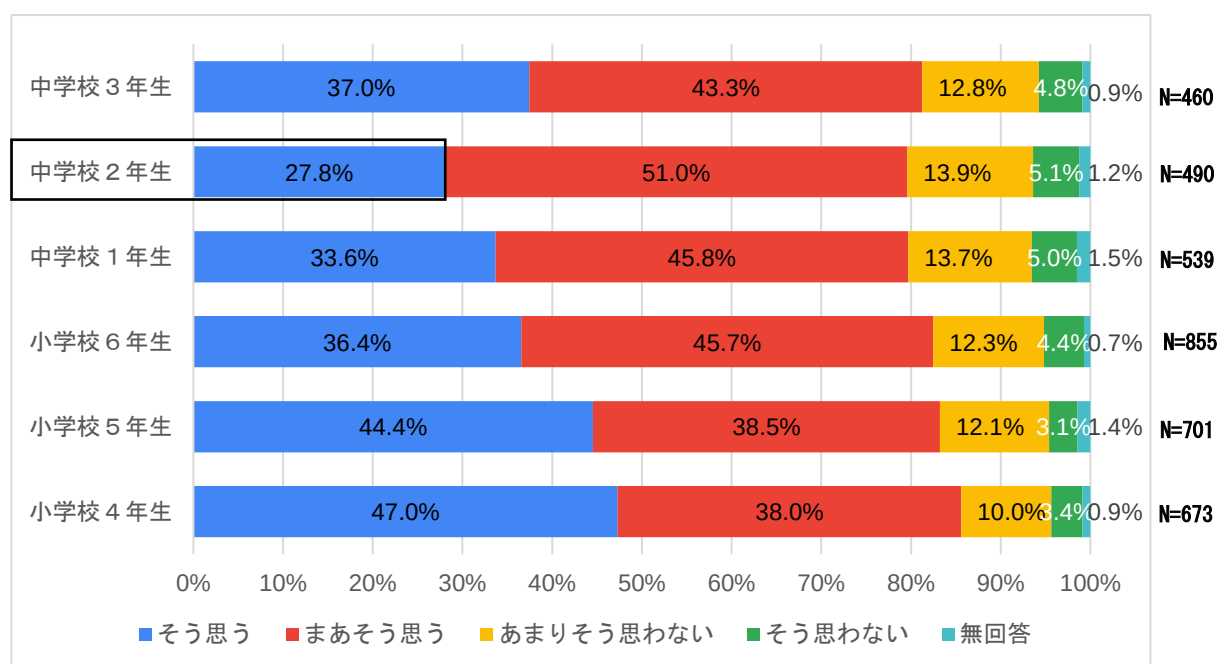
○中学2年生の「ある」の回答は、学年別で最も低くなりました。また、「ない」、「あまりない」(否定的な回答)の回答の合計も、中学2年生が最も高くなりました。

14. あなたは、自分らしく生きていますか？自分にあてはまると思うものを1つ選んでください。

3,743 件の回答



学年ごとの割合 (%)

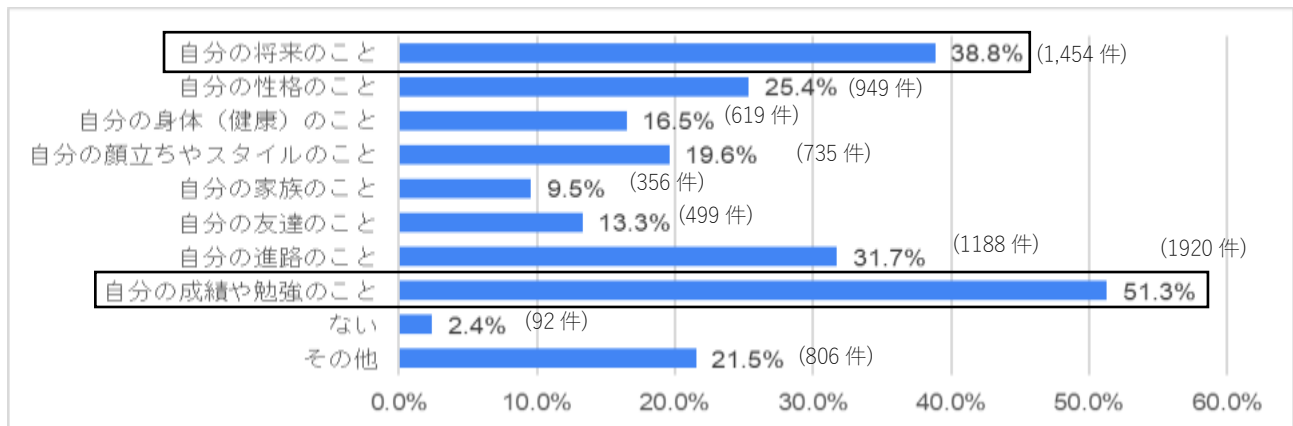


○「そう思う」、「まあそう思う」（肯定的な回答）の回答の合計は、全体で 81.6% となりました。

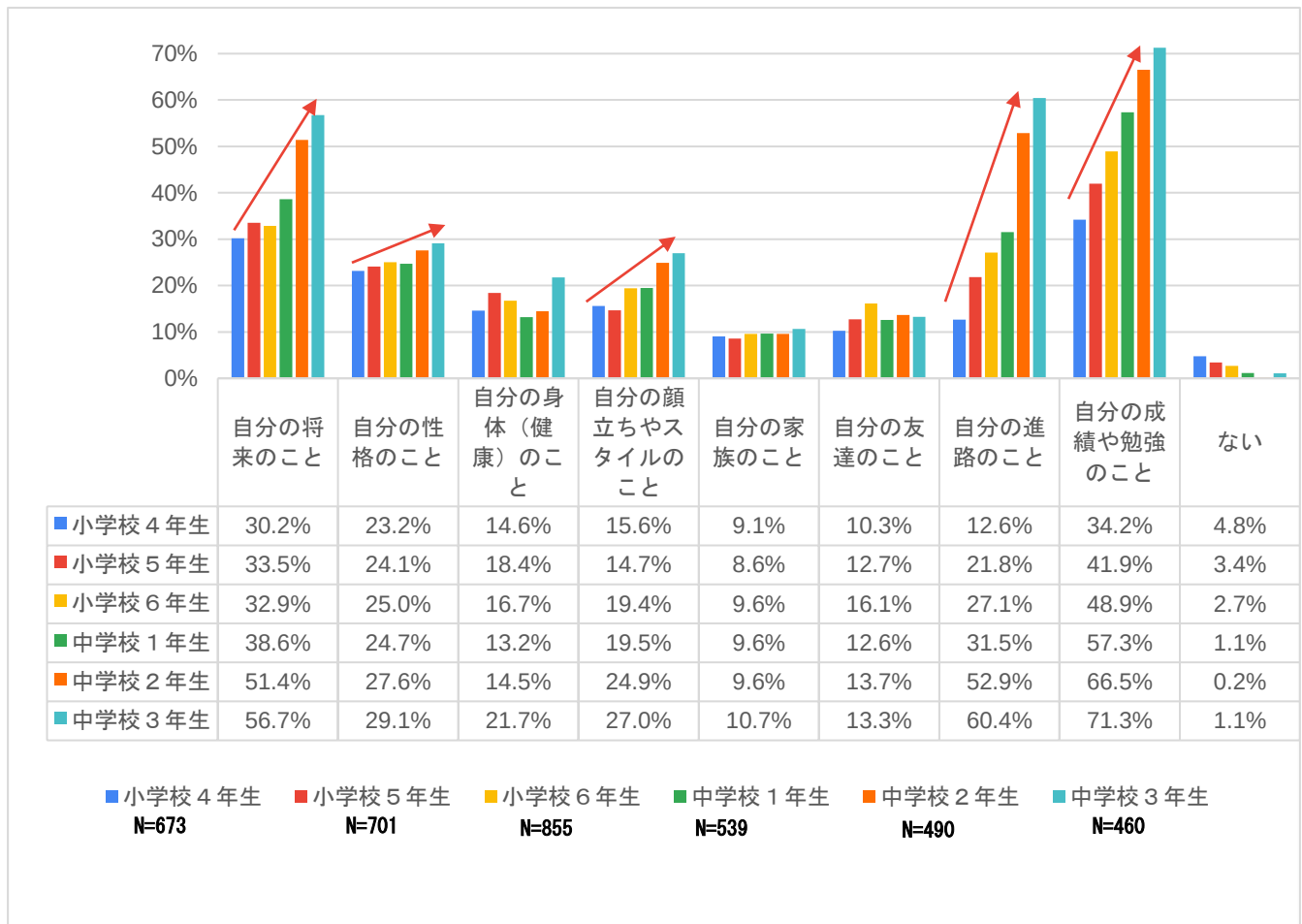
○中学 2 年生の「ある」の回答の回答割合は、学年別で最も低くなりました。

15. いま、自分について悩んでいることはどんなことですか？（いくつでも可）

3,743 件の回答



学年ごとの割合 (%)

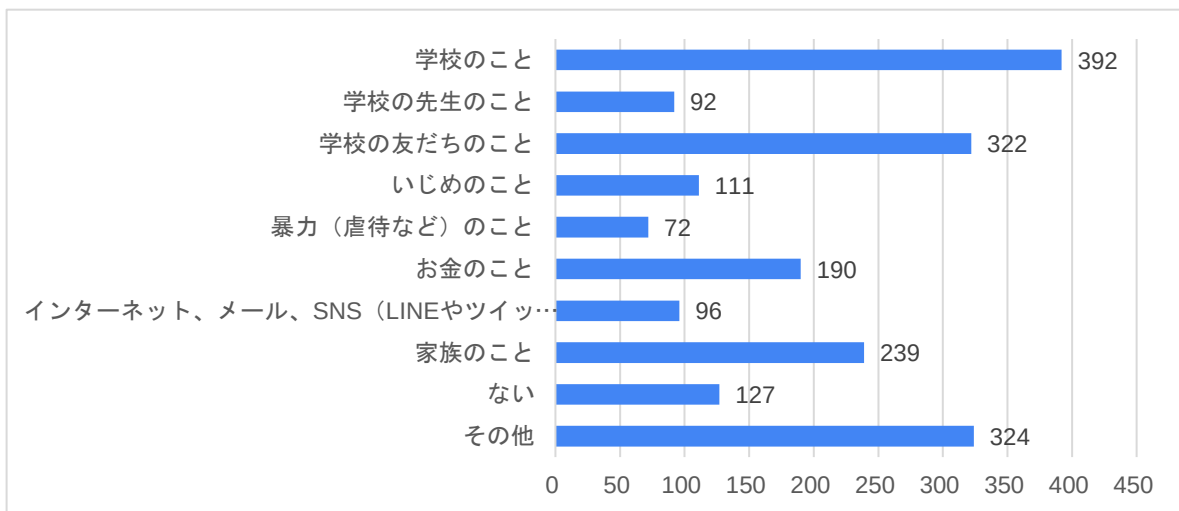


○すべての学年で、「自分の成績や勉強のこと」（1,188件、51.3%）の回答が高くなっています。次いで、「自分の将来のこと」（1,454件、38.8%）の回答が高くなっています。

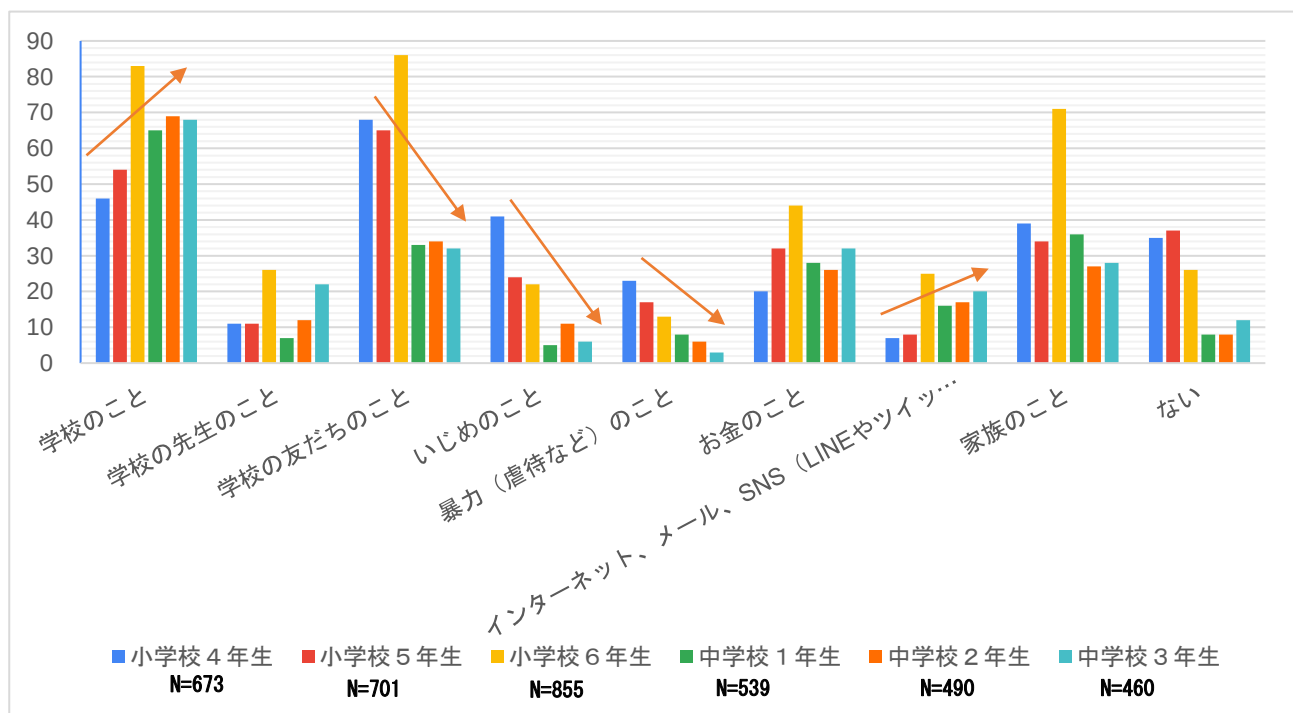
○学年が上がるにつれて、高くなる傾向がみられる項目が複数あります。

16. 今、困っていること、つらいと感じていることはありますか？（いくつでも可）

N=1,641 件の回答



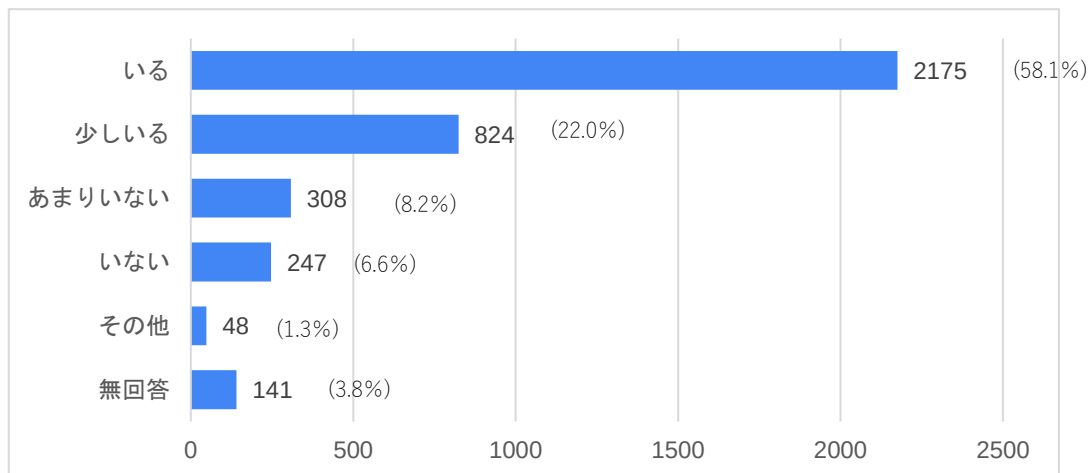
学年ごとの件数（件）



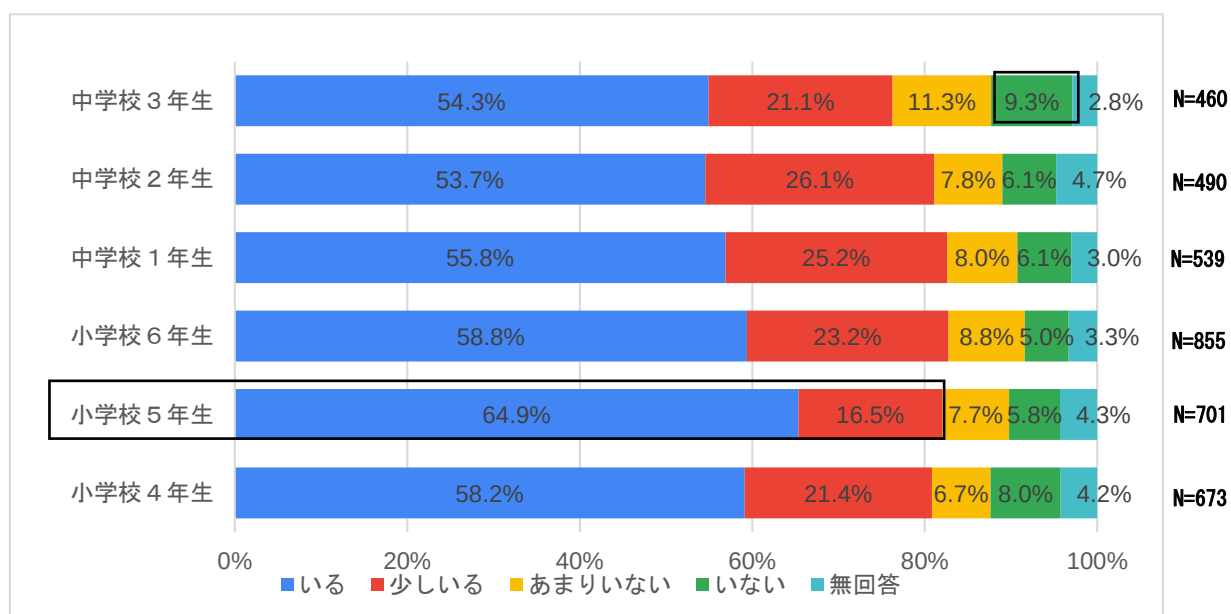
- すべての学年で、「学校のこと」（392件）、「学校の友だちのこと」の回答が多くなっています。
- 「学校の友だちのこと」、「学校のこと」、「家族のこと」などで、小学6年生の回答件数が突出しています。
- 「学校のこと」や「インターネット、メール、SNS（LINEやツイッターなど）のこと」は、学年が高くなるにつれ、回答件数が多くなる傾向が見られました。
- 「学校の友だちのこと」、「いじめのこと」、「暴力（虐待）のこと」は、学年が高くなるにつれ、回答件数が少なくなる傾向が見られました。

17-1. 悩んでいること、困っていることを相談できる人はいいますか？

N=3,743



学年ごとの割合 (%)

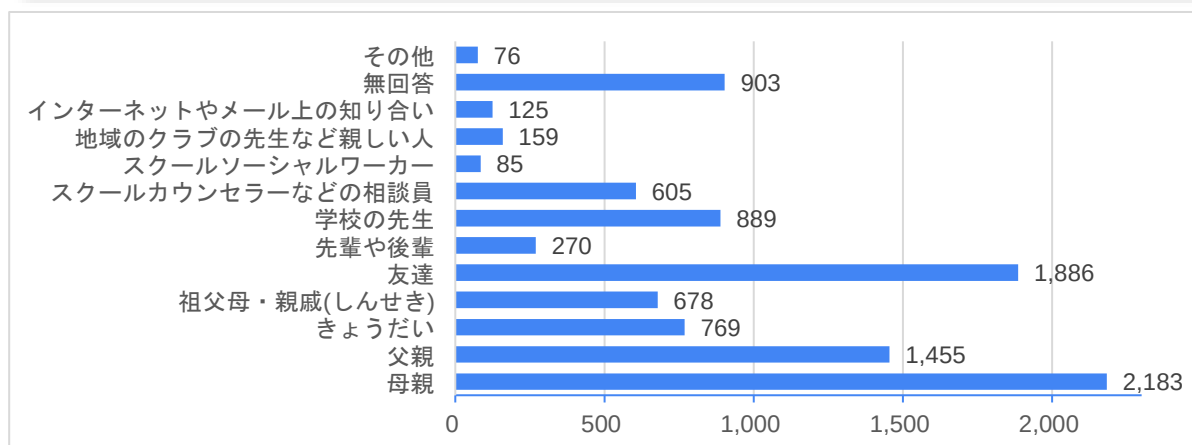


○全体で、相談できる人が「いる」の回答割合は、58.1%でした。

○相談できる人が「いる」の回答割合が最も高いのは、小学5年生64.9%でした。

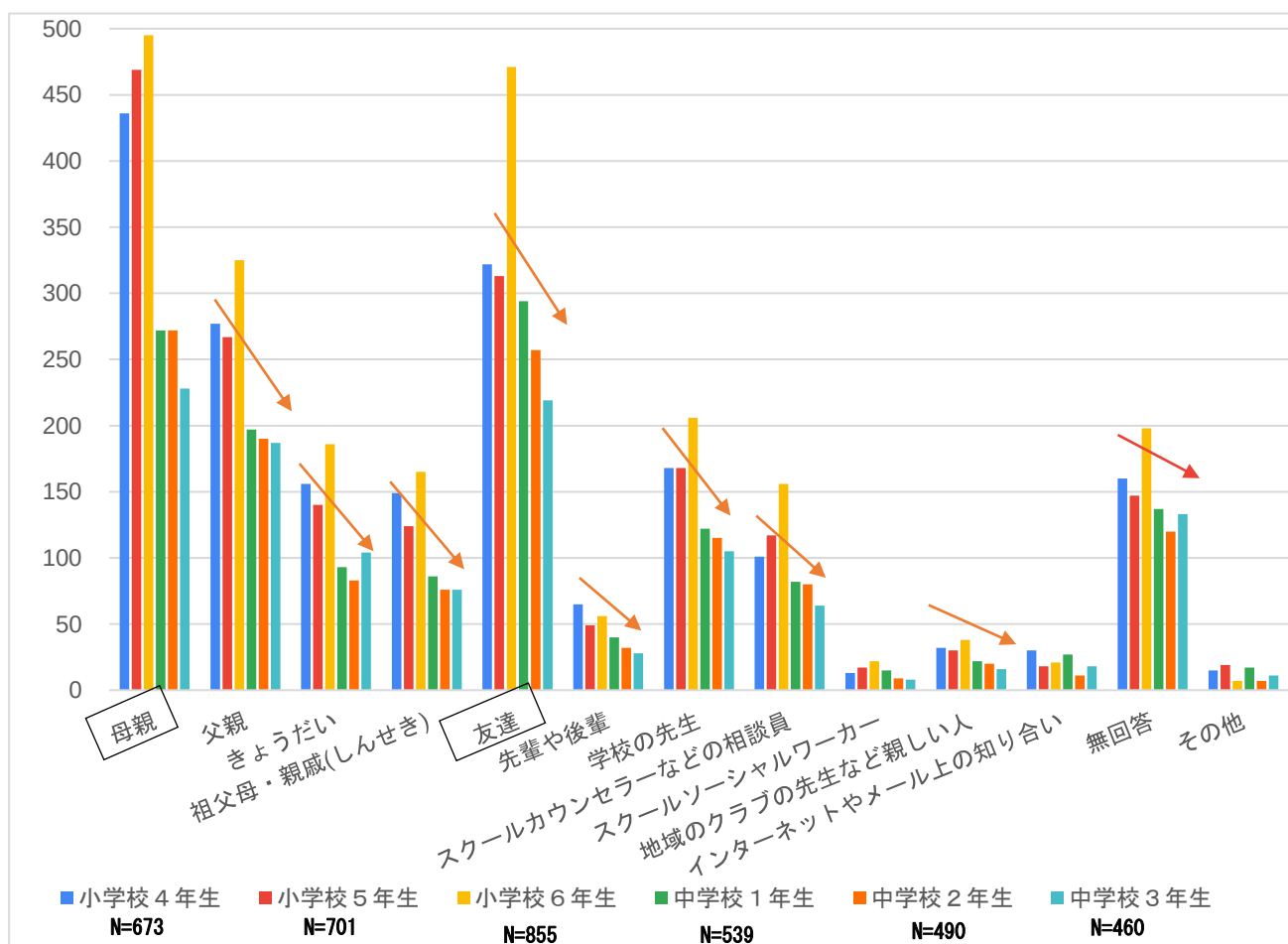
○「いない」、「あまりいない」(否定的な回答)の合計が最も高かったのは、中学3年生でした。

17-2. 相談できる人が「いる」と回答した人にお聞きします。それは、だれですか？（いくつでも可）



※自由記載、少数回答は省略

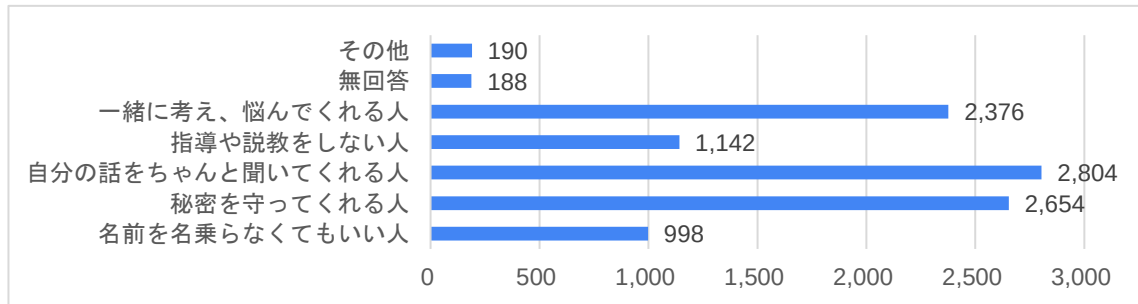
学年ごとの件数（件）



- 全ての学年で、相談できる人は「母親」、「友達」の回答件数が多くなりました。
- 学年が大きくなるにつれ、相談できる人が少なくなる傾向がありました。
- 小学生全体よりも中学生全体の方が、相談できる人が少なくなりました。

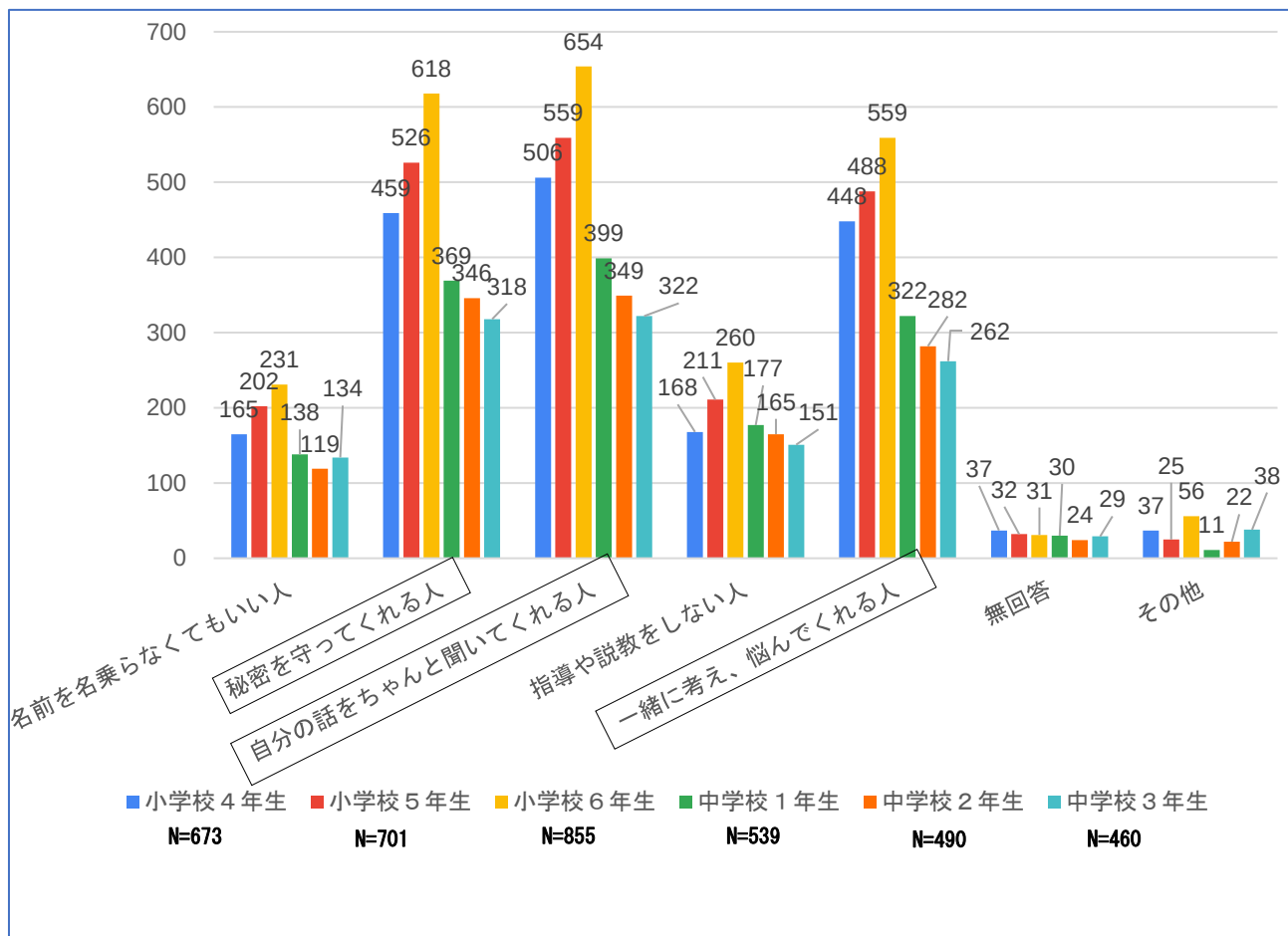
18. もし相談するとしたら、どんな人なら相談できますか？（いくつでも可）

N=3,743



※自由記載、少数回答は省略

学年ごとの割合（％）



○全ての学年で、どんな人なら相談できるかについては、「自分の話をちゃんと聞いてくれる人」、「秘密を守ってくれる人」、「一緒に考え、悩んでくれる人」の回答が多くなりました。

○相談できる人は、子どもによっても、また、悩みによってもそれぞれ異なることが考えられます。